

新型コロナウイルス感染症の感染状況および 取組みについて

令和4年1月23日時点

令和4年2月

世田谷区

保健福祉政策部
世田谷保健所

は じ め に

新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月の国内初の感染確認後、急速に感染が拡大し、社会や経済に甚大な被害をもたらし、最近では変異株の存在が相次ぎ明らかになるなど、今なお日本のみならず世界中に脅威を与え、猛威を振るいつづけています。

国はこの未曾有の事態に対応するため、令和2年4月から断続的に4度にわたり緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出や移動について自粛を要請するなど、感染拡大防止に向けた緊急対策を進める中、区としても区民生活や事業活動を守り抜くため、この間、フェーズに応じた感染予防の取組みを実施してきました。

本資料は、引き続き区民の皆様感染予防の取組みに向けたご協力をいただくとともに、今後の区の対策をより効果的なものとするため、区内の感染状況やこれまでの区の取組み等についてまとめたものです。

この間、令和2年7月に、その時点での区への対応及び今後の対策の全体像を取りまとめ、その後、定期的に区内の感染状況や区の取組等を取りまとめてきました。この度は、令和4年1月23日時点での区内の感染状況等について、取りまとめています。

これまでの区への感染状況等の取りまとめ履歴

- ・令和2年7月時点
- ・令和2年8月28日時点
- ・令和2年10月28日時点
- ・令和2年12月23日時点
- ・令和3年1月31日時点
- ・令和3年4月18日時点
- ・令和3年7月18日時点
- ・令和3年8月22日時点
- ・令和3年10月24日時点

< 新型コロナウイルス感染症の感染者数集計の考え方 >

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」)12条に基づき、医師が作成した発生届に記載されている感染者の「所在地」が世田谷区である方について、区内の感染者として人数を集計しています。

集計にあたっては、HER-SYS に登録されている感染者を集計しています。ただし、以下に該当する方は集計の対象外としています。

所在地が世田谷区であっても、発生届作成が区外の医療機関または区外の保健所の医師で、感染者の入院先または療養先も区外の医療機関である方

クルーズ船(ダイヤモンドプリンセス号)乗客

なお、区のホームページ上で掲載している感染者数は、公表日の集計時点で区が把握した数値であり、本資料中の感染者数は、集計後の報告も含めて発生届の報告年月日で再集計したものであるため、ホームページ上と本資料中の数値に差異が生じる場合があります。また、本資料における各集計の数値は、今後の調査状況等により、後日変動、修正する場合があります。

HER-SYS とは

厚生労働省が運営する新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムの名称。感染者等に関する情報を地域の関係者あるいは必要に応じて地域外の関係者の間で共有・把握するためのシステムです。

目 次

1．区内の感染状況（令和４年１月２３日現在）・・・・・・・・・・ P 1

- （１）概要（令和４年１月２３日現在）
- （２）感染者の累計数
- （３）感染者数の推移
- （４）男女別の感染状況
- （５）年代別の感染状況
- （６）地域別の感染状況
- （７）重症等の患者の状況
- （８）死亡者の状況
- （９）感染源の状況
- （１０）濃厚接触者の状況
- （１１）ＰＣＲ検査（従来型）数の推移
- （１２）ＰＣＲ検査（社会的検査）の実施実績
- （１３）クラスター発生状況
- （１４）社会福祉施設等での感染の発生状況
- （１５）新型コロナウイルスワクチン接種状況

2．区の実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 1

- （１）新型コロナウイルス感染症に関する実施体制
- （２）新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー
- （３）新型コロナウイルス感染症自宅療養者への対策強化
- （４）新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業
- （５）社会的検査の実施体制
- （６）新型コロナウイルスワクチン住民接種の実施状況

1 . 区内の感染状況（令和4年1月23日現在）

（1）概要（令和4年1月23日現在）

感染者数の推移

区内の感染者数は、令和3年4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで新規感染者数が増加しました。6月20日に解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、2回の延長がなされています。その後、感染状況は急激に減少し、9月30日に緊急事態宣言も解除され、10月18日～24日の週には1桁にまで減少しました。令和4年1月になり新たな変異株（オミクロン株）の影響で感染者数が急増し、1月21日にまん延防止等重点措置が適用され、1月17日～23日の週には4,547人となり過去最高を更新しました。

年代別の感染状況

区内の感染者は、全感染者のうち20代から50代の感染者が全体の約8割を占めています。（区民全体における同年代の人口割合は約6割）

令和3年10月から令和4年1月の2か月で0～9歳の感染者は約1.4倍以上増加しており、全体の増加率約1.2倍より高く、こうした世代の感染をいかに防止するかが大きな課題となっています。

重症等の患者および死亡者の状況

全感染者数のうち、30代以下の感染者数が過半数を占めている状況で、これまでは重症等の患者のほとんどが40代以上であり、30代以下の重症等のリスクは低いという傾向が表れていました。しかし、その件数も徐々に増加しており、今後若年層の重症化数が増加していくことも懸念されます。また感染者における死亡者数は80代が最も多く、30代未満の死亡者は出ていません。年代別の感染者数では20代から50代が多い一方、死亡者数は80代が最多となっていることから、依然として高齢者ほどリスクが高い傾向は続いており、これらの年齢層に対しては引き続き、より感染を防ぐ対策が必要です。

感染源の状況

令和4年1月23日までの区内の新規感染者のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約6割となっています。感染源判明と区分している患者のうち、家庭内感染が約5割、飲食店での会食等による感染が約1割、職場内感染が約1割などとなっており、**直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が高くなっています。**これに伴い、子どもや高齢者も含めた全年代に感染が広がることが懸念されます。

社会福祉施設等での感染の発生状況

医療機関や高齢者施設におけるクラスターの発生が減少していますが、一方で、区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は1407件把握しています（令和4年1月23日現在）。前回集計時（令和3年10月24日現在）の983件から、この3か月の間で約1.43倍の件数となりました。

なお、前回から増加した件数の内訳では、区立小学校が543件となっており、多くの感染者が発生しました。また、保育施設等で293件、区立中学校で146件となっており、若い世代の感染に引き続き注意が必要な状況です。

ワクチン接種状況

国が新型コロナワクチン追加接種における一般の高齢者やその他の一般の方の接種時期を前倒ししたこと等を受け、区は今後の接種体制の確保に関する考え方を整理した。

この考え方を踏まえ、区の3回目接種の接種計画や接種券の発送スケジュール等を見直すとともに、令和4年3月以降に実施が予定されている5～11歳への接種の接種計画を新たに定める。

(2) 感染者の累計数

令和4年1月23日現在における感染者の累計数とその内訳(入院中、宿泊療養中、自宅療養中、退院等(療養期間経過を含む)、死亡)は以下のとおりです。

< 感染者の累計数 >

(令和4年1月23日現在)					
()内は10月24日現在					
感染者数 (累計数)	入院中	宿泊療養中	自宅療養中	退院等 (療養期間経過を含む)	死亡
35,426 人 (28,353 人)	219 人 (25 人)	133 人 (1 人)	5,555 人 (8 人)	29,357 人 (28,159 人)	162 人 (160 人)

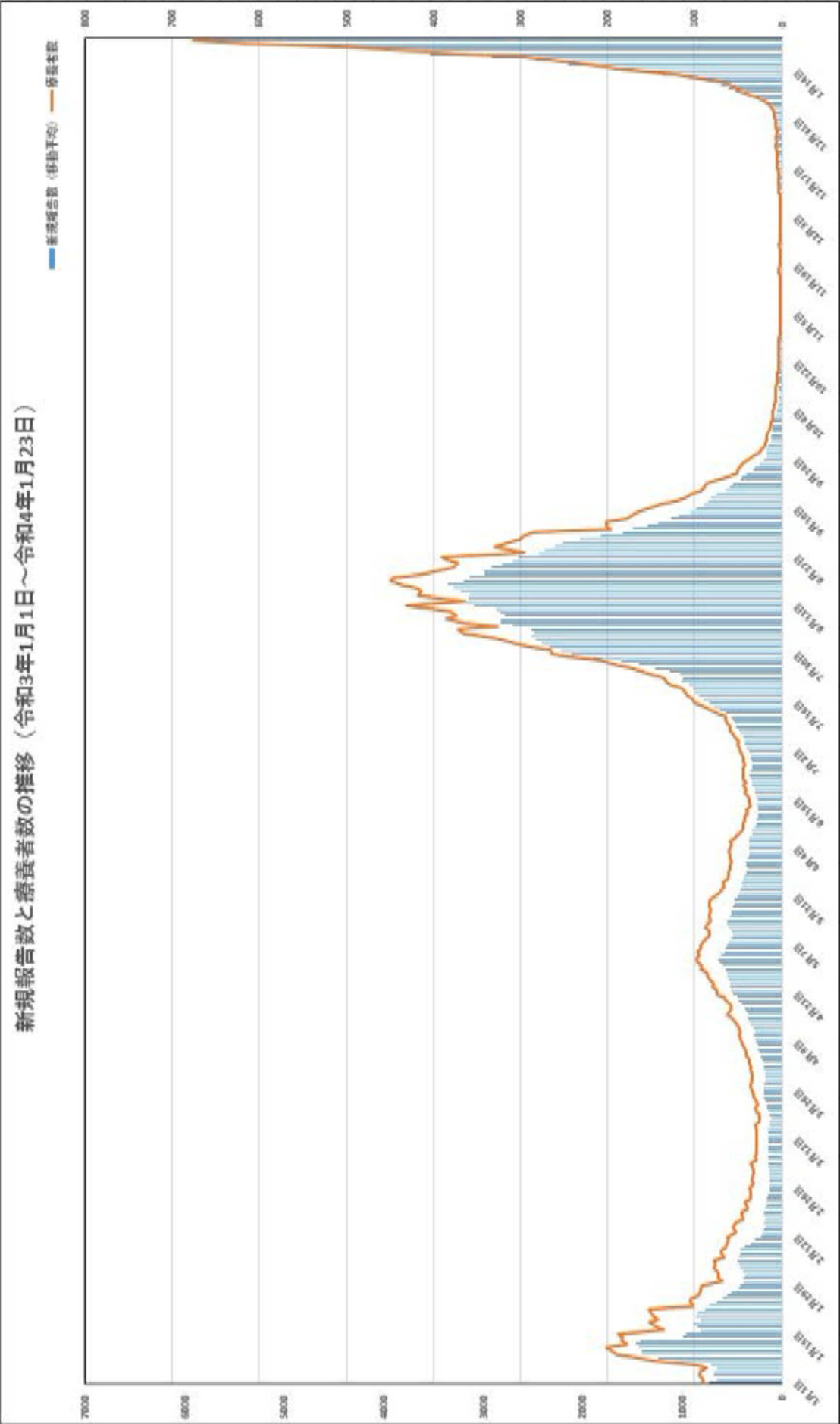
< 区内の感染状況の分析 >

	ステージ 感染者の急増	ステージ 爆発的な感染拡大	R3. 4月12 日～18日	8月16日 ～22日	10月18日 ～24日	R4.1月17 日～23日	前週との 比較
新規感染者	1週間で人口 10万人当たり <u>15人以上</u>	1週間で人口 10万人当たり <u>25人以上</u>	30.0 人	249.9 人	0.6 人	494.3 人	↗
療養者数 (入院者、自宅・ 宿泊療養者)	人口10万人当 たりの全療養 者数 <u>15人以上</u>	人口10万人当 たりの全療養 者数 <u>25人以上</u>	55.9 人 (4月18日時点)	415.6 人 (8月22日時点)	3.6 人 (10月24日時点)	642.2 人 (1月23日時点)	↗
P C R陽性率	10%	10%	7.3%	32.2%	0.4%	39.4%	↗
感染経路不明割合	50%	50%	57.8%	53.3%	100%	70.6%	↘

P C R陽性率は、区が把握可能な検査件数を母数としており、区外の検査数の把握ができず分母に入らないため、数値が高くなる傾向にあります。また、国や都道府県、他の区市町村が算出している数値と算出方法(母数となる検査数)が異なるため、単純に比較することはできません。

感染経路不明割合には感染経路調査中も含まれます。

< 直近の入院者数、自宅療養者数、宿泊療養者数の推移 >



(3) 感染者数の推移

区内の感染者数は、令和3年1月4日～10日の週に新規感染者数が1,135人となり、1月7日に2度目の緊急事態宣言が発出されました。以降の感染者数は減少傾向にありましたが、4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで新規感染者数が増加しました。6月20日に解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、2回の延長がなされています。その後、感染状況は急激に減少し、9月30日に緊急事態宣言も解除され、10月18日～24日の週には1桁にまで減少しました。令和4年1月になり新たな変異株（オミクロン株）の影響で感染者数が急増し、1月21日にまん延防止等重点措置が適用され、1月17日～23日の週には4,547人となり過去最高を更新しました。

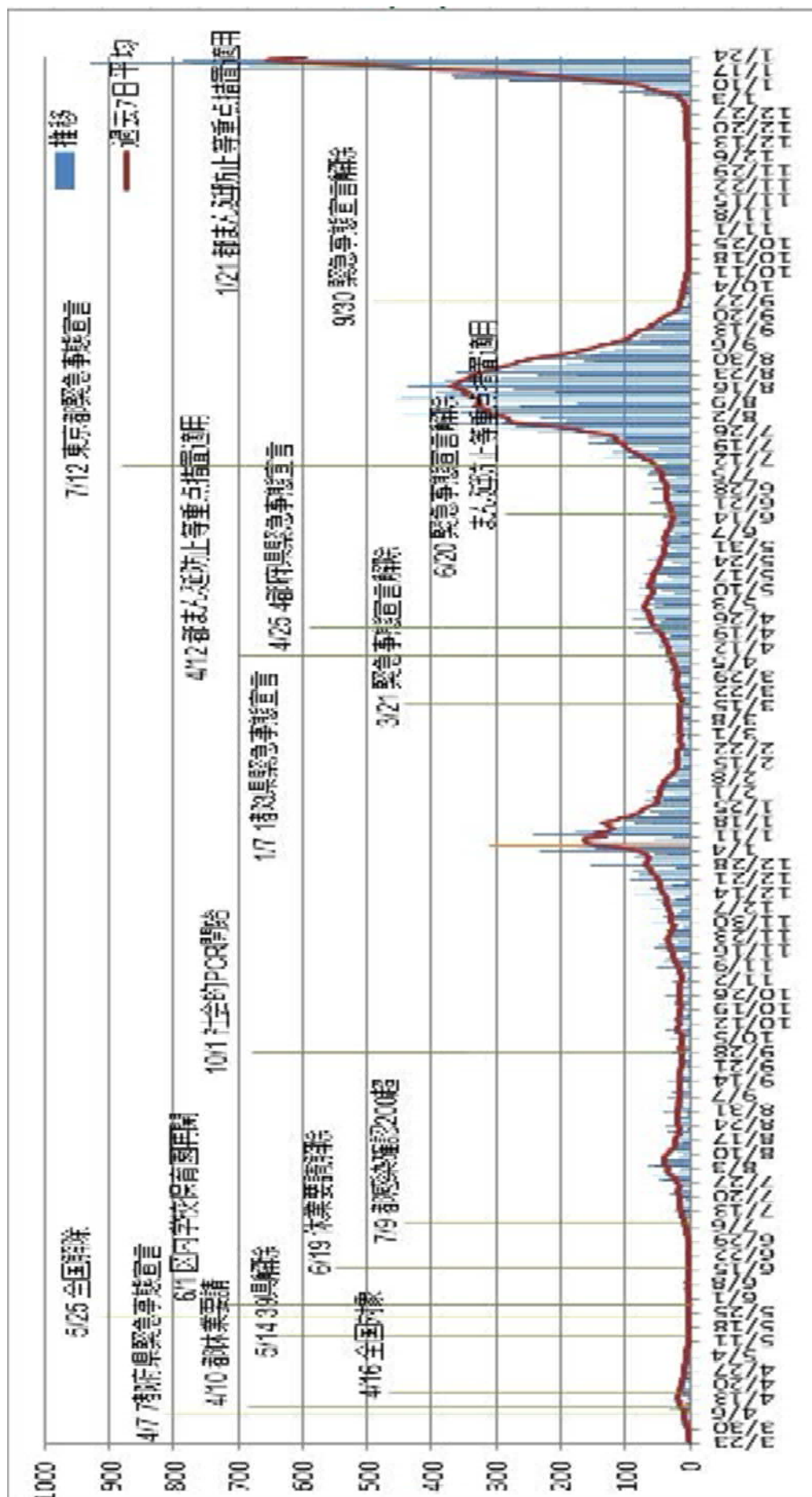
< 週ごとの感染者数推移 >

【令和4年1月23日現在】

各週	感染者数 (人)
令和2年～令和3年 1月3日	5,082
1月4日～1月10日	1,135
1月11日～1月17日	886
1月18日～1月24日	505
1月25日～1月31日	333
2月1日～2月7日	277
2月8日～2月14日	135
2月15日～2月21日	124
2月22日～2月28日	96
3月1日～3月7日	102
3月8日～3月14日	99
3月15日～3月21日	115
3月22日～3月28日	145
3月29日～4月4日	153
4月5日～4月11日	227
4月12日～4月18日	290
4月19日～4月25日	411
4月26日～5月2日	498
5月3日～5月9日	392
5月10日～5月16日	408
5月17日～5月23日	330
5月24日～5月30日	280

各週	感染者数 (人)
5月31日～6月6日	261
6月7日～6月13日	193
6月14日～6月20日	215
6月21日～6月27日	242
6月28日～7月4日	288
7月5日～7月11日	391
7月12日～7月18日	666
7月19日～7月25日	927
7月26日～8月1日	1,981
8月2日～8月8日	2,340
8月9日～8月15日	2,397
8月16日～8月22日	2,374
8月23日～8月29日	1,867
8月30日～9月5日	1,052
9月6日～9月12日	589
9月13日～9月19日	318
9月20日～9月26日	104
9月27日～10月3日	77
10月4日～10月10日	25
10月11日～10月17日	19
10月18日～10月24日	6
10月25日～10月31日	15
11月1日～11月7日	6

各週	感染者数 (人)
11月8日～11月14日	12
11月15日～11月21日	14
11月22日～11月28日	11
11月29日～12月5日	10
12月6日～12月12日	15
12月13日～12月19日	32
12月20日～12月26日	31
12月27日～1月2日	62
1月3日～1月9日	457
1月10日～1月16日	1,859
1月17日～1月23日	4,547
合 計	35,426



(4) 男女別の感染状況

男女別の累計感染者数は男性が女性の約 1.2 倍となっており、区民全体の男女比 47 : 53 (男性 436,022 人、女性 484,449 人。令和 3 年 4 月 1 日時点) と比較すると、男性に感染者数が多い傾向が見られます。

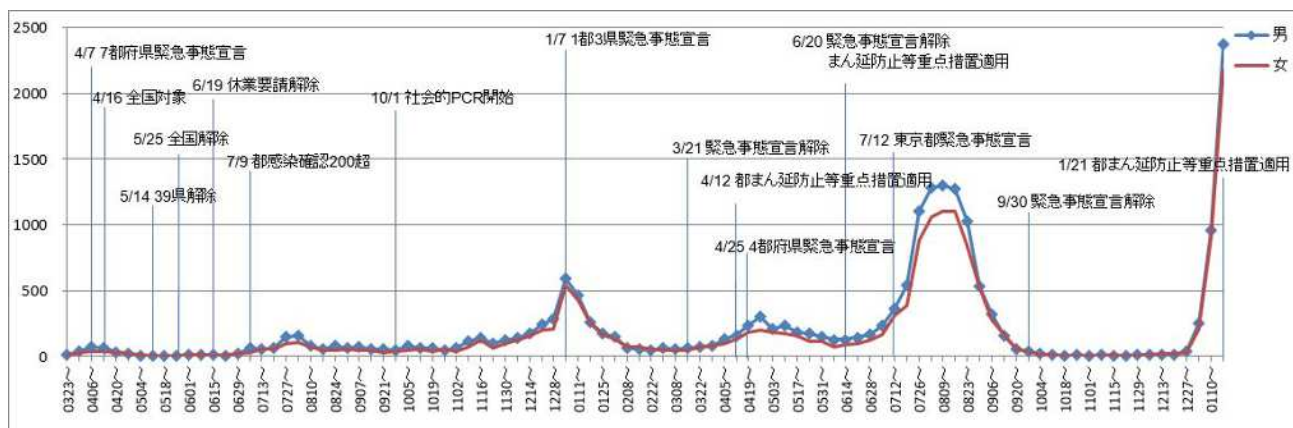
< 男女別の感染者の累計 >

【令和 4 年 1 月 23 日現在】

	男性	女性	計
累計	19,262 人	16,164 人	35,426 人
割合	54%	46%	100%

< 男女別の感染者数推移 >

【令和 4 年 1 月 23 日現在】



(5) 年代別の感染状況

区内の感染者は、全感染者 35,426 人のうち 20 代から 50 代の感染者が 27,629 人と、全体の約 8 割を占めています。(区民全体における同年代の人口割合は約 6 割。)

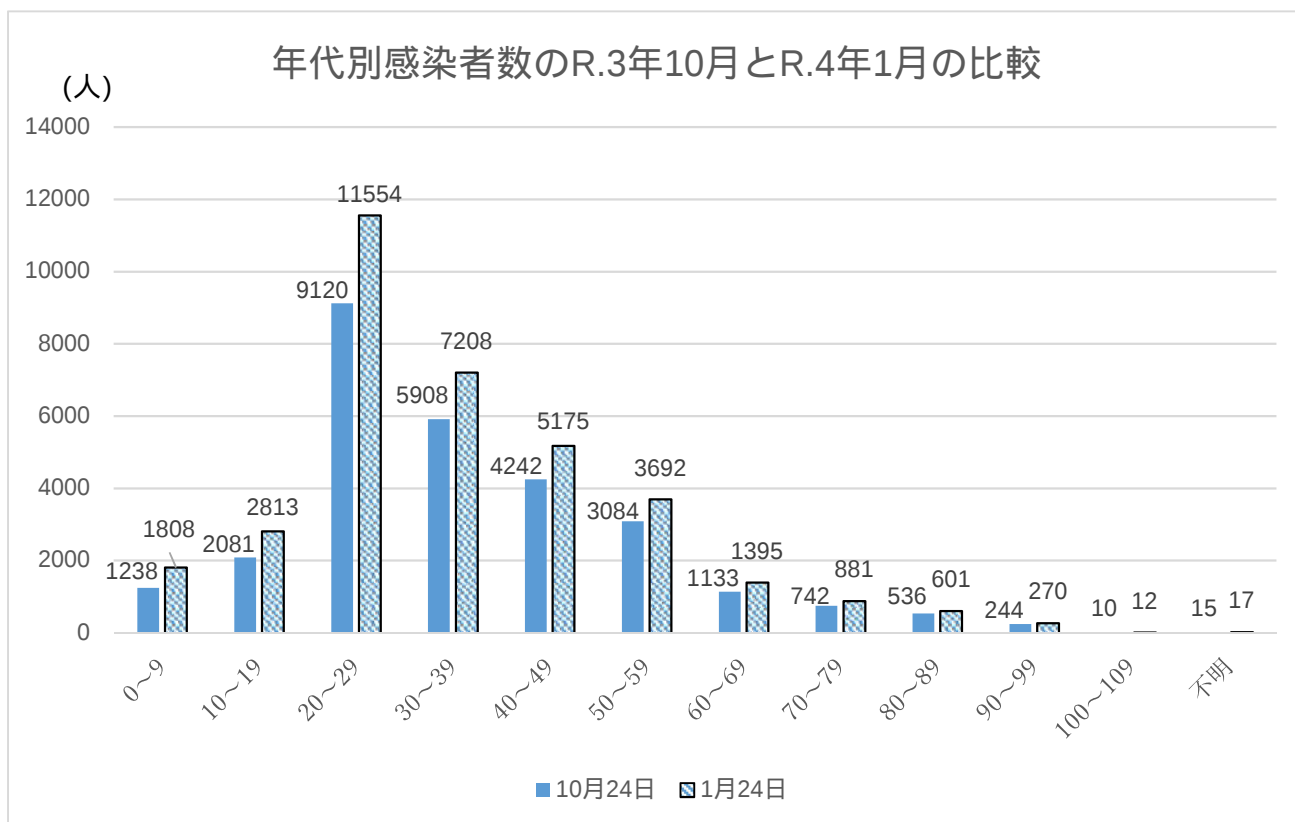
令和 3 年 10 月から令和 4 年 1 月の 2 か月で 0～9 歳の感染者は約 1.4 倍以上増加しており、全体の増加率約 1.2 倍より高く、こうした世代の感染をいかに防止するかが大きな課題となっています。

< 年代別感染者数の累計 (各取りまとめ時点別) >

歳	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	不明	計
R3.1 月 31 日	150 人	400 人	2,356 人	1,670 人	1,157 人	945 人	480 人	329 人	241 人	134 人	4 人	16 人	7,882 人
4 月 18 日	212 人	495 人	2,834 人	1,975 人	1,440 人	1,179 人	572 人	452 人	340 人	174 人	4 人	16 人	9,693 人
7 月 18 日	391 人	825 人	4,384 人	2,921 人	2,130 人	1,669 人	758 人	551 人	421 人	194 人	7 人	16 人	14,267 人
8 月 22 日	806 人	1,676 人	8,021 人	5,065 人	3,591 人	2,654 人	1,020 人	657 人	476 人	218 人	8 人	15 人	24,207 人
10 月 24 日	1,238 人	2,081 人	9,120 人	5,908 人	4,242 人	3,084 人	1,133 人	742 人	536 人	244 人	10 人	15 人	28,353 人
R4.1 月 23 日	1,808 人	2,813 人	11,554 人	7,208 人	5,175 人	3,692 人	1,395 人	881 人	601 人	270 人	12 人	17 人	35,426 人
10月-1月 増加割合	1.46 倍	1.35 倍	1.27 倍	1.22 倍	1.22 倍	1.20 倍	1.23 倍	1.19 倍	1.12 倍	1.11 倍	1.20 倍	1.13 倍	1.25 倍

< 年代別感染者数の各取りまとめ時点における前回からの増加人数 >

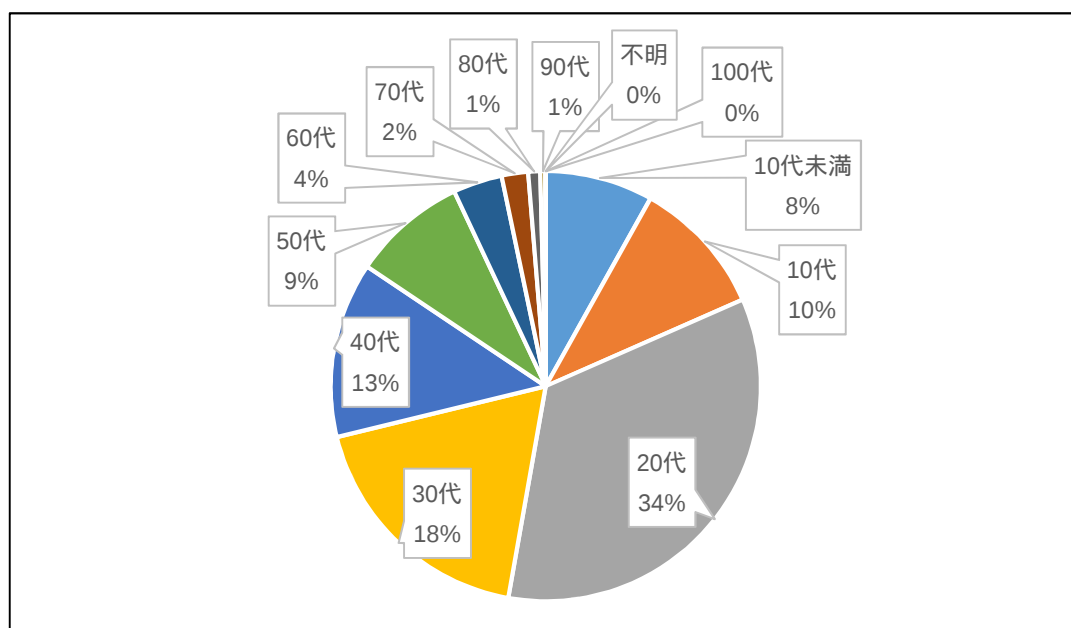
歳	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	不明	計
R3.1 月 31 日 → 4 月 18 日	62 人	95 人	478 人	305 人	283 人	234 人	92 人	123 人	99 人	40 人	0 人	0 人	1,811 人
4 月 18 日 → 7 月 18 日	179 人	330 人	1,550 人	946 人	690 人	490 人	186 人	99 人	81 人	20 人	3 人	0 人	4,574 人
7 月 18 日 → 8 月 22 日	415 人	851 人	3,637 人	2,144 人	1,461 人	985 人	262 人	106 人	55 人	24 人	1 人	-1 人	9,940 人
8 月 22 日 → 10 月 24 日	432 人	405 人	1,099 人	843 人	651 人	430 人	113 人	85 人	60 人	26 人	2 人	0 人	4,146 人
R3.10 月 24 日 → R4.1 月 24 日	570 人	732 人	2,434 人	1,300 人	933 人	608 人	262 人	139 人	65 人	26 人	2 人	2 人	7,073 人
増加人数 の各年代 の割合	8.1 %	10.3 %	34.4 %	18.4 %	13.2 %	8.6 %	3.7 %	2.0 %	0.9 %	0.4 %	—	—	100 %

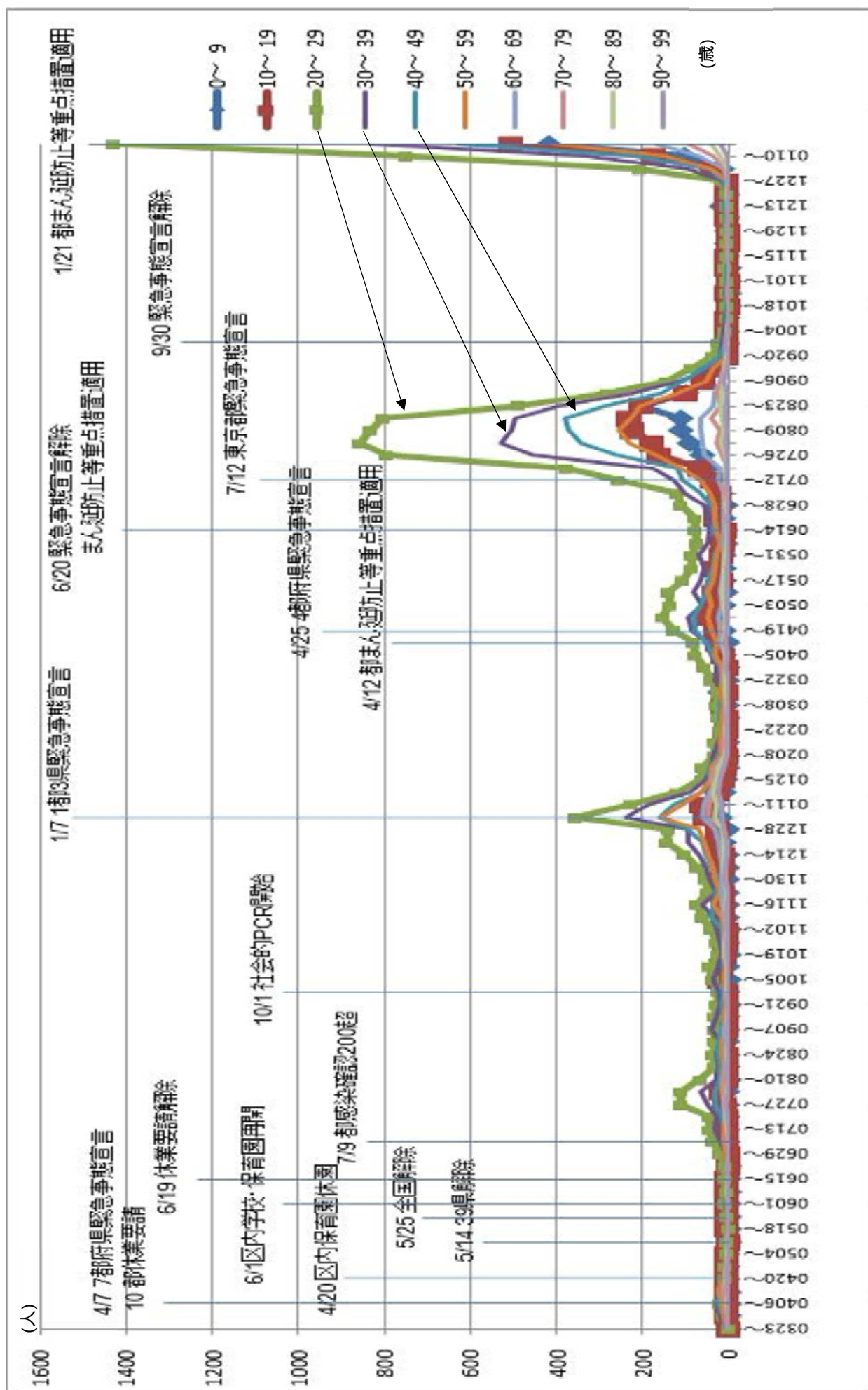


■ すべての年代で感染者が増加しているが、20～29歳が最も多い

< 年代別の感染者数 >

【令和4年1月23日現在】





(6) 地域別の感染状況

地域別の感染状況について、感染者数の累計及び人口 10 万人（令和 3 年 4 月 1 日時点）あたりの感染者数で比較を行いました。地域別の感染者数については、あくまでも感染者の居住地別に累計を算出したものであり、数値の高さがその地域でクラスターが発生していることを示すものではありません。今回は本年 1 月からの感染拡大を受けて、全地域で感染者数が増加したため人口 10 万人あたりの件数も増加しています。

< 地域別感染者累計数・人口 10 万人あたりの件数 >

【令和 4 年 1 月 23 日現在】

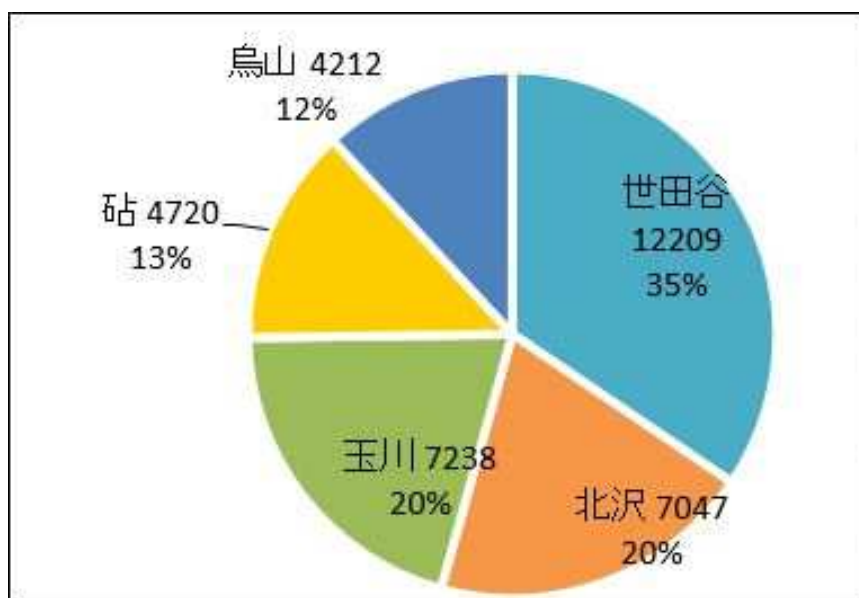
	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
累計数(人)	12,209	7,047	7,238	4,720	4,212	35,426
人口 10 万人あたりの数(人)	4806.96	4569.56	3199.50	2873.28	3479.27	3851.67

< 【過去分】地域別感染者の人口 10 万人あたりの件数（人） >

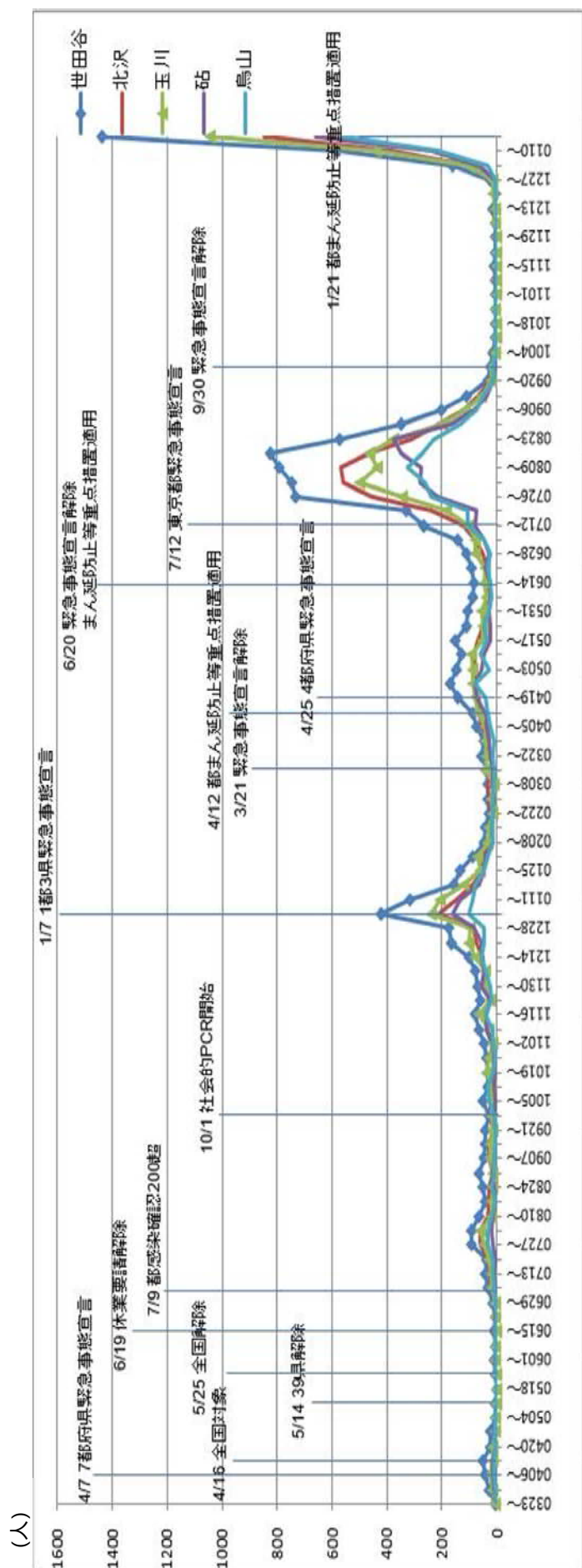
	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
R2. 8 月 28 日	263.86	231.32	142.78	98.80	159.67	185.44
10 月 28 日	406.57	340.52	221.67	143.04	252.68	282.70
12 月 23 日	635.92	526.61	373.70	323.66	440.34	471.61
R3. 1 月 31 日	1137.37	927.86	706.87	627.93	744.87	853.74
4 月 18 日	1367.82	1161.96	889.77	792.28	912.74	1053.05
7 月 18 日	2048.77	1704.08	1278.55	1134.00	1378.61	1549.97
8 月 22 日	3385.12	3173.05	2122.82	1850.88	2357.43	2629.85
10 月 24 日	3913.83	3674.37	2477.14	2272.87	2796.87	3080.27

< 地域別感染者累計数 >

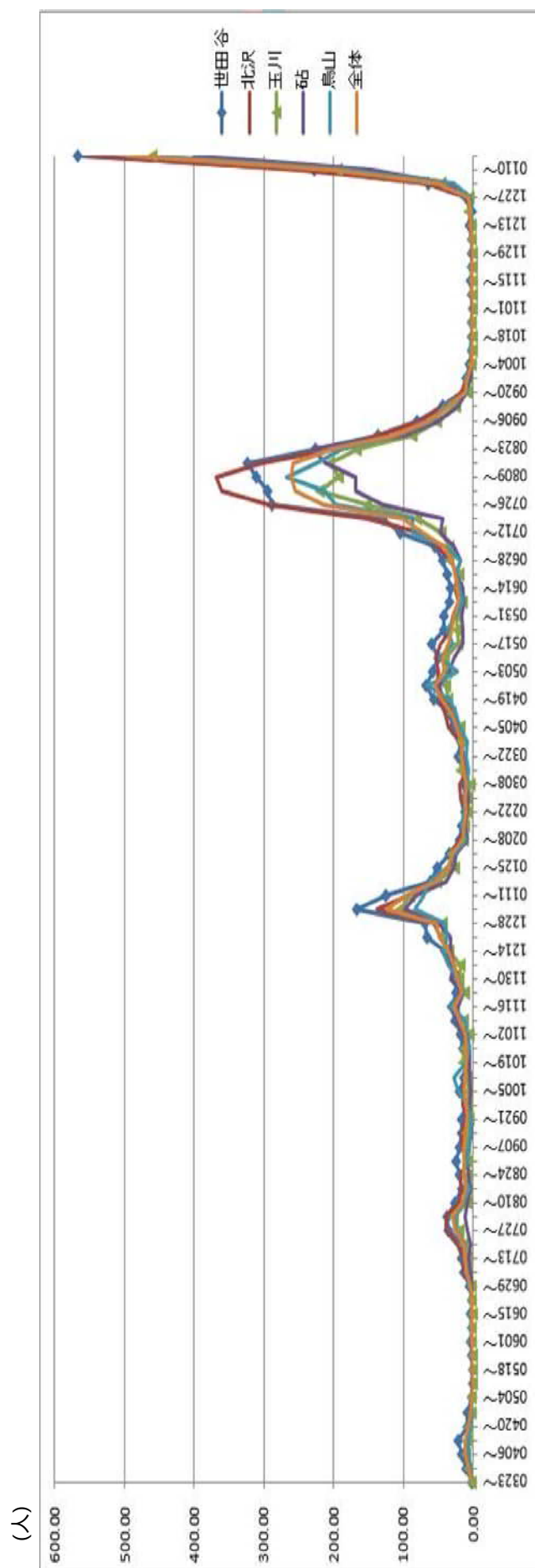
【令和 4 年 1 月 23 日現在】



< 地域別感染者数の推移 >



< 人口 10 万人当たりで比較 >



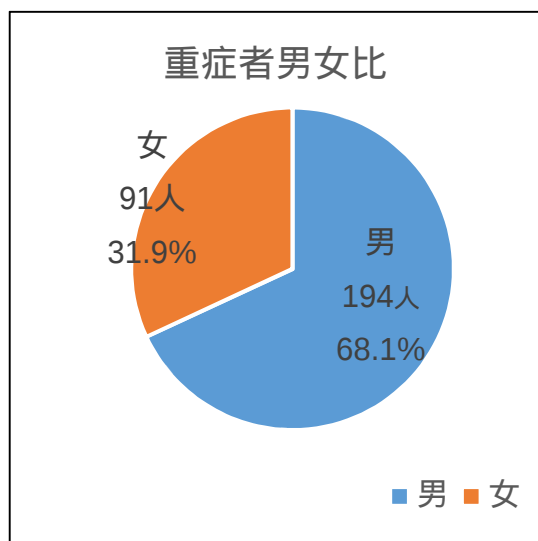
(7) 重症等の患者の状況

新型コロナウイルス感染症に罹患した 35,426 人のうち、医療機関等からの報告により、区が重症等(高酸素療法、人工呼吸器管理、死亡等)を把握した症例は 285 件です。このうち、体外式膜型人工肺(エクモ)による治療を受けていることを区が把握した事例は 4 件、人工呼吸器管理を実施した事例は 66 件でした。令和 3 年 7 月以降、重症等の症例も増加しています。

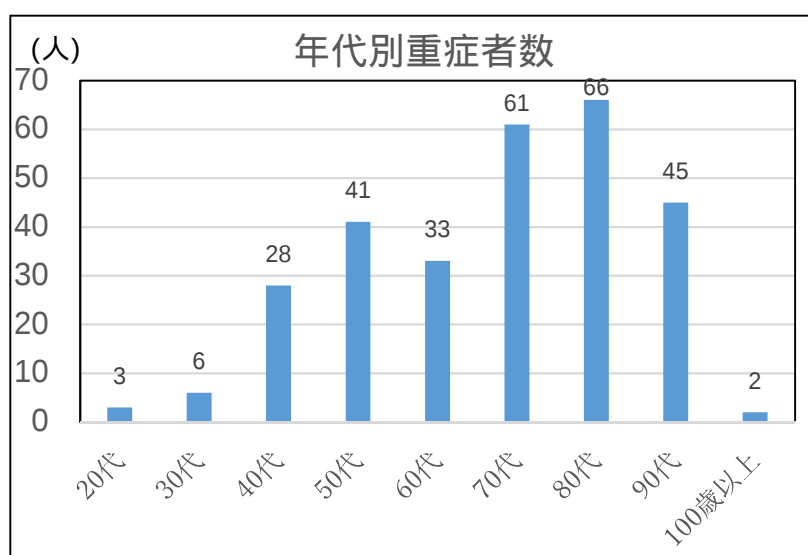
全感染者数のうち、30 代以下の感染者数が過半数を占めている状況で((5) 年代別の感染状況参照) これまでは重症等の患者のほとんどが 40 代以上であり、30 代以下の重症等のリスクは低いという傾向が表れていました。しかし、その件数も徐々に増加しており、今後若年層の重症化数が増加していくことも懸念されます。285 例における男女比、年代、基礎疾患の有無、人工呼吸器使用の有無、症状の経過状況は以下のとおりです。

なお、区が把握した 285 例のうち、症状の経過により死亡に至った事例は 162 件でした(基礎疾患により死亡した可能性も含まれます)。

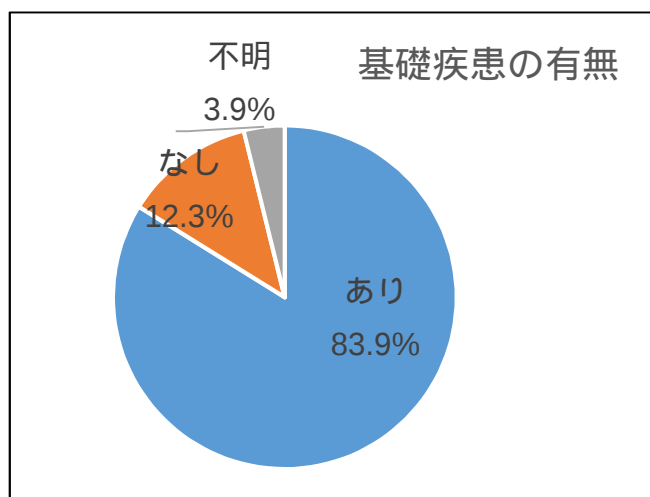
< 重症等の患者の男女比 >



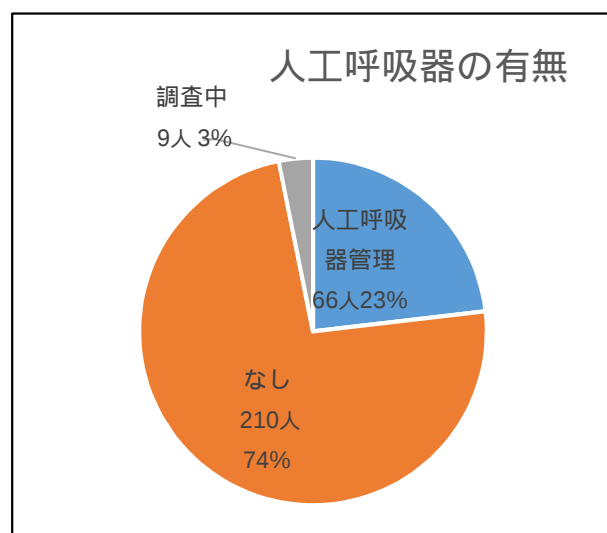
< 重症等の患者の年代別内訳 >



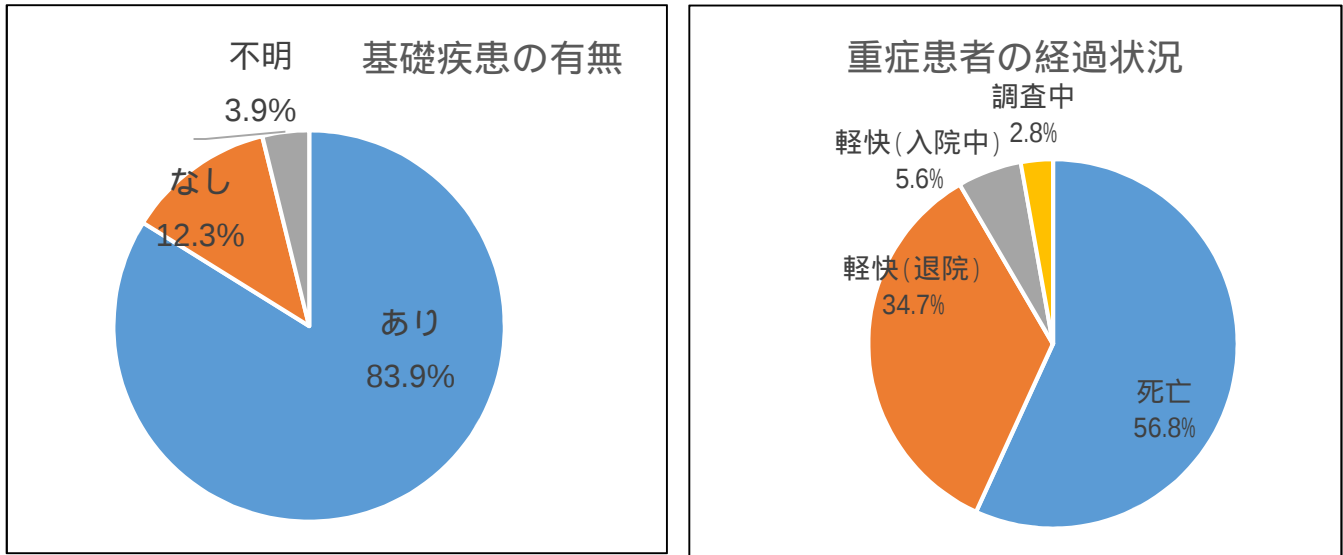
< 重症者等の基礎疾患の有無 >



< 重症等の患者の人工呼吸器使用の有無 >



< 重症等の患者の症状の経過状況 >



< 重症等の患者の年代別内訳の累計（各取りまとめ時点別） >

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	計
R3.1月31日	0人	0人	1人	11人	16人	17人	16人	16人	14人	0人	91人
4月18日	0人	0人	1人	15人	21人	19人	39人	39人	30人	1人	165人
7月18日	0人	0人	4人	21人	23人	27人	52人	47人	31人	1人	206人
8月22日	0人	0人	6人	22人	28人	30人	55人	51人	33人	1人	226人
10月24日	0人	3人	6人	28人	41人	33人	60人	66人	44人	2人	283人
R4.1月23日	0人	3人	6人	28人	41人	33人	61人	66人	45人	2人	285人
10月→1月増加割合	—	—	1.00倍	1.00倍	1.00倍	1.00倍	1.02倍	1.00倍	1.02倍	1.00倍	1.01倍

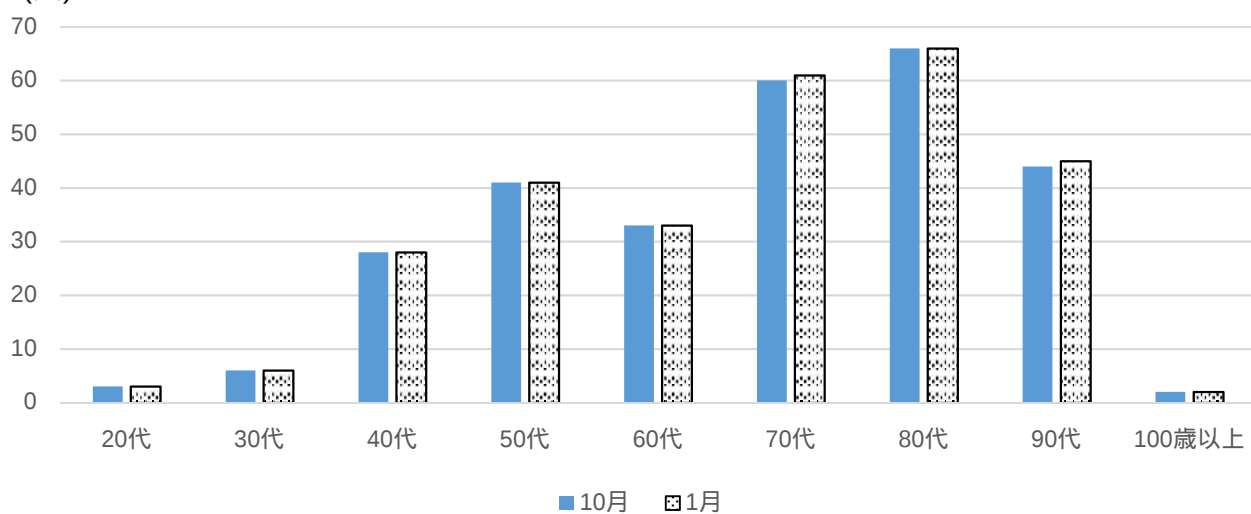
今般の感染拡大により重症者の集計の確認が困難なため、実際の数値とは異なる場合がございます。

< 重症等の患者の各取りまとめ時点における前回からの増加人数 >

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	計
R3.1月31日 → 4月18日	—	—	—	4人	5人	2人	23人	23人	16人	1人	74人
4月18日 → 7月18日	—	—	3人	6人	2人	8人	13人	8人	1人	0人	41人
7月18日 → 8月22日	—	—	2人	1人	5人	3人	3人	4人	2人	0人	20人
8月22日 → 10月24日	—	3人	0人	6人	13人	3人	5人	15人	11人	1人	57人
R3.10月24日 → R4.1月23日	-	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人

重症者の年代別内訳の10月24日時点と1月23日時点の累計比較

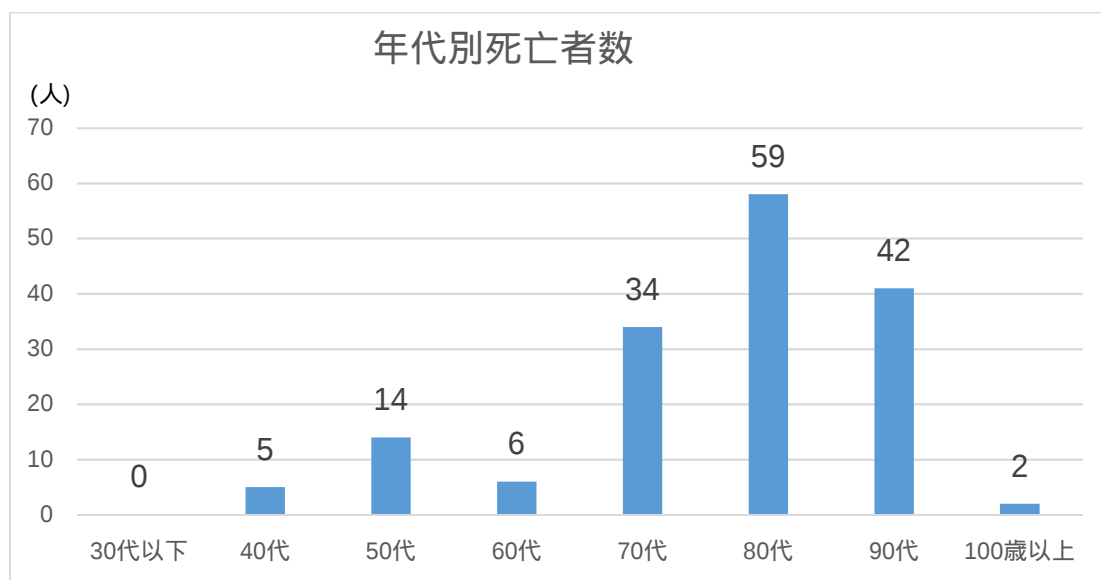
(人)



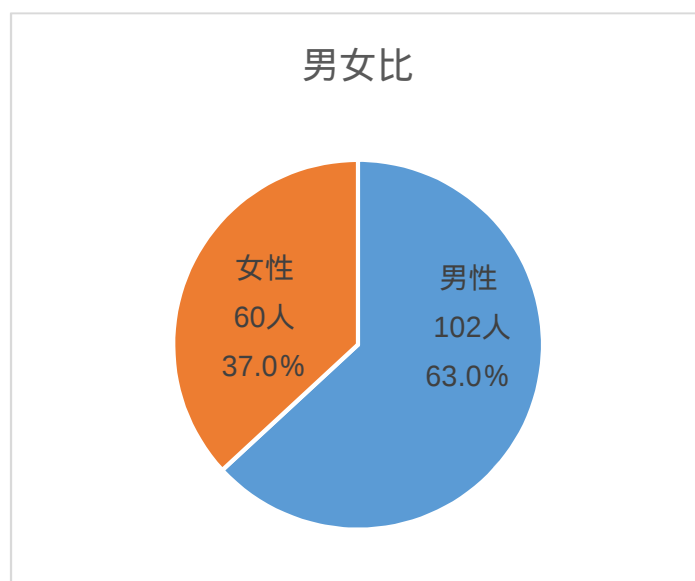
(8) 死亡者の状況

令和4年1月23日現在、病院等からの連絡により区が把握した感染者における死亡者数は162人です（区外医療機関等で診断され、入院先または療養先も区外医療機関である場合については、区保健所が関わっていないため、含まれていません）。年代別の死亡者数は、80代が59人と最も多く、90代が42人、70代が34人、60代が6人、50代が14人、40代が5人、100歳以上が2人となっており、30代未満の死亡者は出ていません。年代別の感染者数では20代から50代が多い一方、死亡者数は80代が最多となっていることから、高齢者ほどリスクが高く、より感染を防ぐ対策が必要です。また、死亡者全162人のうち、男性が102人、女性が60人となっており、男性が多い傾向にあります。さらに、162人のうち137人に基礎疾患があり、全国的な傾向と同じく、基礎疾患がある人ほど死亡のリスクが高い状況となっています。

<年代別死亡者数>



<死亡者の男女比>



< 年代別死亡者数の累計（各取りまとめ時点別） >

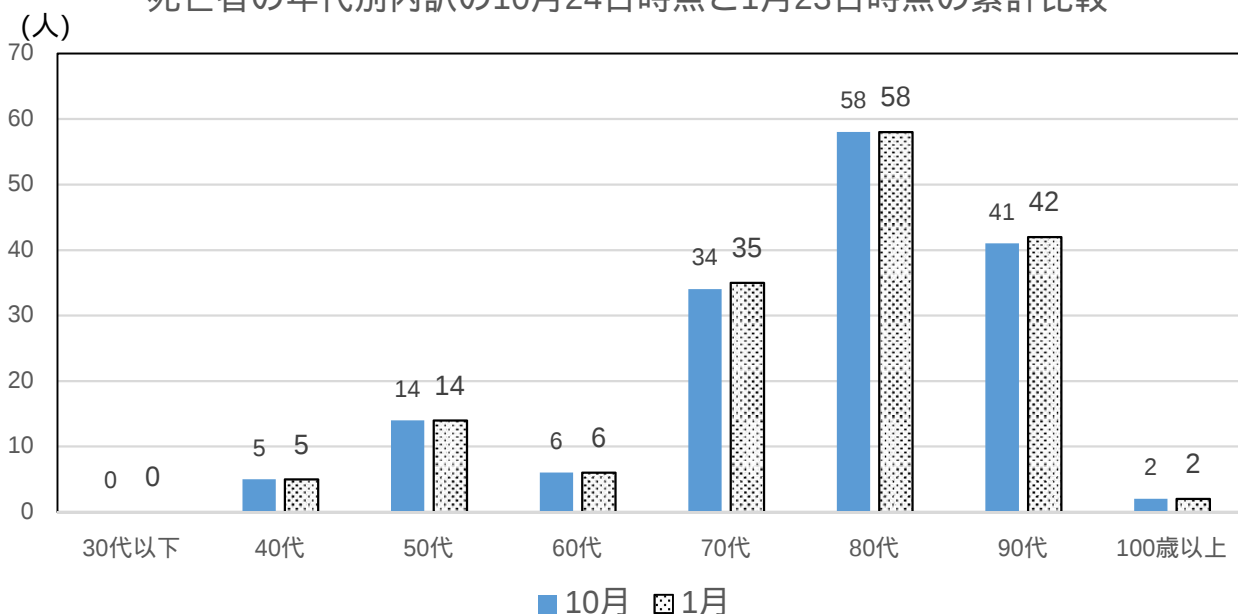
	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3.1月 31日	0 人	2 人	4 人	2 人	6 人	13 人	13 人	0 人	40 人
4月18日	0 人	2 人	4 人	3 人	20 人	37 人	29 人	1 人	96 人
7月18日	0 人	3 人	4 人	4 人	25 人	45 人	33 人	1 人	115 人
8月22日	0 人	3 人	5 人	4 人	27 人	47 人	35 人	1 人	122 人
10月24日	0 人	5 人	14 人	6 人	34 人	58 人	41 人	2 人	160 人
R4.1月 23日	0 人	5 人	14 人	6 人	34 人	59 人	42 人	2 人	162 人
各年代の 割合	—	3.1 %	8.6 %	3.7 %	21.0 %	36.4 %	25.9 %	1.2 %	100 %

死亡情報が反映されるまで時間差があるため、実際の数値とは異なる場合がございます。

< 年代別死亡者の各取りまとめ時点における前回からの増加人数 >

	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3.1月31日 → 4月18日	—	0 人	0 人	0 人	13 人	20 人	17 人	1 人	51 人
4月18日 → 7月18日	—	0 人	0 人	0 人	5 人	10 人	3 人	0 人	18 人
7月18日 → 8月22日	—	0 人	1 人	2 人	6 人	6 人	0 人	0 人	15 人
8月22日 → 10月24日	—	2 人	9 人	2 人	7 人	11 人	6 人	1 人	38 人
R3.10月24日 → R4.1月23日	—	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人

死亡者の年代別内訳の10月24日時点と1月23日時点の累計比較



(9) 感染源の状況

令和4年1月23日までの区内の新規感染者（累計）のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約60%となっています。

一方で、感染源判明と区分している患者について、家庭内感染が47.6%、飲食店での会食等による感染が11.8%、職場内感染が14.9%などとなっており、**直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が高くなっています。**これに伴い、子どもや高齢者も含めた全年代に感染が広がることが懸念されます。

男女で感染源を比較すると、男性は職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）、大学（体育会・寮）が高く、女性は家族・同居人、福祉施設が高くなっています。

こうした状況を踏まえ、密閉、密集、密接といった3つの密を避け、「自ら感染しない」と「他者に感染させない」ことに十分留意する必要があります。

また、家庭内や会食等での感染拡大を防止するため、感染拡大を防止する細やかな配慮とリスクを最大限回避する習慣を一人ひとりが実践することが大切です。

なお、感染源判明と区分している患者の感染源分類の内訳、直近の感染源の状況は、以下のとおりです。令和2年度と現在を比較しますと、主に「家庭内」「学校等(専門学校含む)」「保育園・幼稚園」が増加し、「医療機関」「福祉施設」「職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）」が減少しています。

< 主な感染源分類の令和2年度と令和4年1月との比較 >

増加傾向

主な感染源分類・内訳	令和2年度 感染源の状況 構成比	令和4年1月 感染源の状況 構成比	-
家族・同居人	42.2%	47.8%	5.6 ポイント
学校等(専門学校含む)	0.9%	4.8%	3.9 ポイント
保育園・幼稚園	1.0%	4.8%	3.8 ポイント

減少傾向

主な感染源分類・内訳	令和2年度 感染源の状況 構成比	令和4年1月 感染源の状況 構成比	-
医療機関	7.5%	1.3%	6.2 ポイント
福祉施設	7.0%	1.8%	5.2 ポイント
職場（医療機関、飲食店、福祉施設等を除く）	11.2%	9.7%	1.5 ポイント

< 感染源分類の内訳（感染源が区内・区外問わず分類）【累計】 >

	令和3年度(2021年度)														総計		
	～令和2年度 (2020年度)		1～3月		4～6月		7～9月		10月		11月		12月		1月(23日まで)		内訳
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
感染源不明	3,536	42.5%	1,785	45.4%	5,531	42.9%	30	30.3%	11	8.7%	70	55.1%	2,114	30.7%	14,417	40.7%	男 7,123 20.1% 女 7,288 20.5%
(感染源分類 内訳)																	
①家族・同居人	1,553	42.2%	516	45.5%	5,245	51.2%	15	43.3%	8	11.4%	40	57.1%	1,011	47.8%	5,866	47.6%	2,925 39.6% 4,041 55.4%
②友人・知人	349	9.0%	152	5.5%	455	7.0%	3	10.3%		0.0%	4	5.7%	165	7.8%	1,128	7.3%	623 8.7% 506 6.3%
③五感機関	259	7.5%	27	1.5%	26	0.4%		0.3%	1	1.4%		0.0%	27	1.3%	370	2.5%	136 1.9% 234 3.3%
④飲食店	502	13.0%	200	11.1%	639	9.8%	2	6.7%		0.0%	7	10.0%	349	16.5%	1,868	11.5%	955 13.8% 713 9.5%
⑤福祉施設	27	7.0%	69	3.8%	62	0.9%	5	20.3%		0.0%		0.0%	38	1.8%	445	3.1%	137 1.9% 308 4.3%
⑥ライブハウス・スタジオ・劇場等	130	3.5%	34	1.9%	65	1.0%		0.3%		0.0%		0.0%	8	0.4%	207	1.4%	125 1.8% 82 1.1%
⑦劇場・映画館・飲食店・福祉施設等(除く)	453	11.2%	321	17.9%	1,186	18.2%	3	10.3%		0.0%	2	2.8%	255	9.7%	2,150	14.5%	1,267 17.8% 883 12.1%
⑧カラオケ	32	0.8%	5	0.3%	8	0.1%		0.3%		0.0%		0.0%	13	0.6%	58	0.4%	35 0.5% 23 0.3%
⑨商業施設(スーパー・家電量販店など)	2	0.1%	1	0.1%	9	0.1%		0.3%		0.0%		0.0%		0.0%	12	0.1%	4 0.1% 8 0.1%
⑩保育園・幼稚園	38	1.0%	18	1.0%	178	2.7%		0.3%	2	2.5%		0.0%	102	4.8%	327	2.4%	147 2.1% 200 2.7%
⑪学校等(専門学校含む)	36	0.9%	51	2.8%	118	1.8%	1	3.3%		0.0%	1	1.4%	101	4.8%	308	2.1%	174 2.4% 134 1.5%
⑫児童館	4	0.1%	5	0.3%	2	0.0%		0.3%		0.0%	5	7.1%	2	0.1%	18	0.1%	15 0.2% 3 0.0%
⑬大学(体育会・部等)	128	3.3%	81	4.5%	298	4.6%	1	3.3%		0.0%		0.0%	70	3.3%	578	4.0%	522 7.3% 56 0.5%
⑭スポーツジム	12	0.3%	2	0.1%	16	0.2%		0.3%		0.0%		0.0%		0.0%	30	0.2%	12 0.3% 11 0.2%
⑮旅行・出張先	6	0.2%	5	0.3%	44	0.7%	1	3.3%		0.0%		0.0%	9	0.4%	65	0.5%	47 0.7% 18 0.3%
⑯結婚式	6	0.2%	1	0.1%	2	0.0%		0.3%		0.0%		0.0%	4	0.2%	13	0.1%	3 0.1% 8 0.1%
⑰葬式・火葬	25	0.6%	7	0.4%	78	1.2%		0.3%		0.0%	2	2.8%	11	0.5%	123	0.9%	63 0.9% 60 0.5%
感染源不明	5,250	57.5%	2,160	54.6%	5,690	57.1%	67	69.1%	37	23.1%	57	44.9%	4,767	89.3%	21,008	59.3%	12,132 34.2% 8,876 25.1%
調査中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0 0.0% 0 0.0%
総計	9,036	100.0%	3,955	100.0%	15,221	100.0%	97	100.0%	48	37.5%	127	100.0%	5,881	100.0%	35,425	100.0%	19,351 54.4% 16,164 45.5%

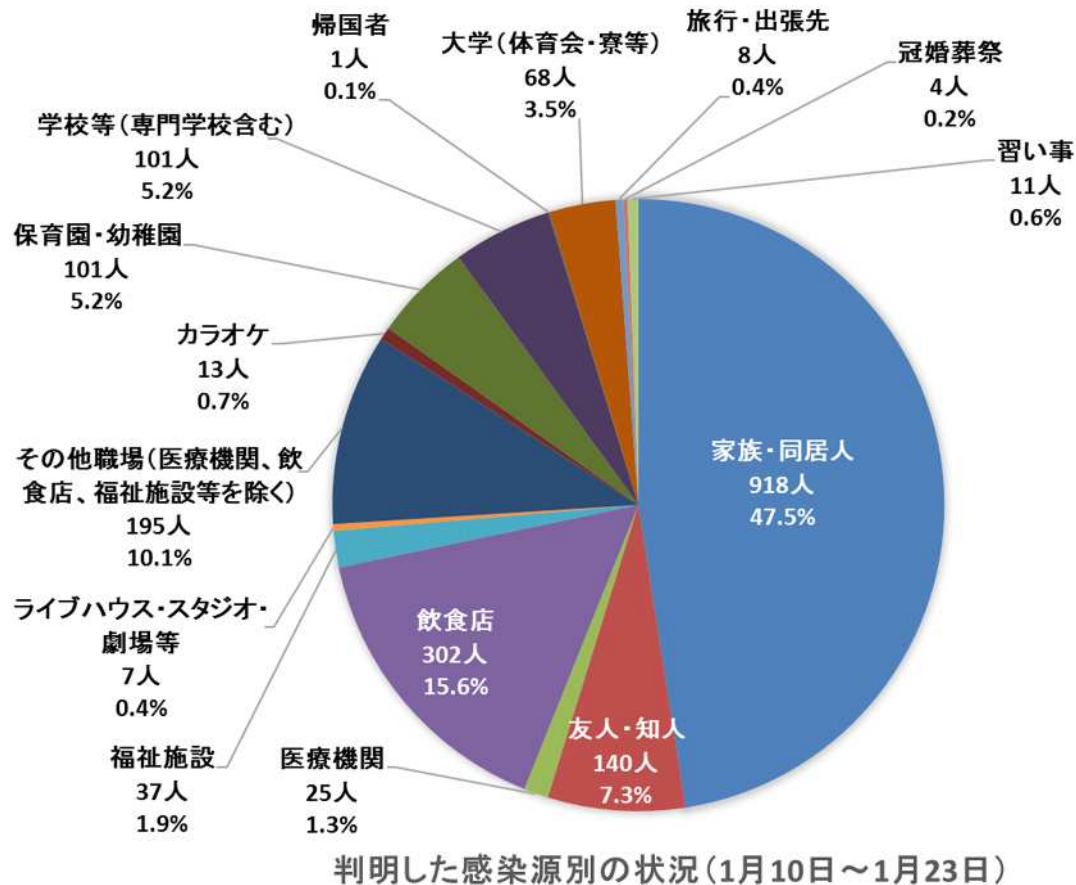
本資料中の他の統計や区のホームページ上の数値等と集計時点及び集計期間が違つたため、数値に差異が生じています。

令和3年7月31日より積極的疫学調査について、陽性者の体調確認を優先して実施しています。

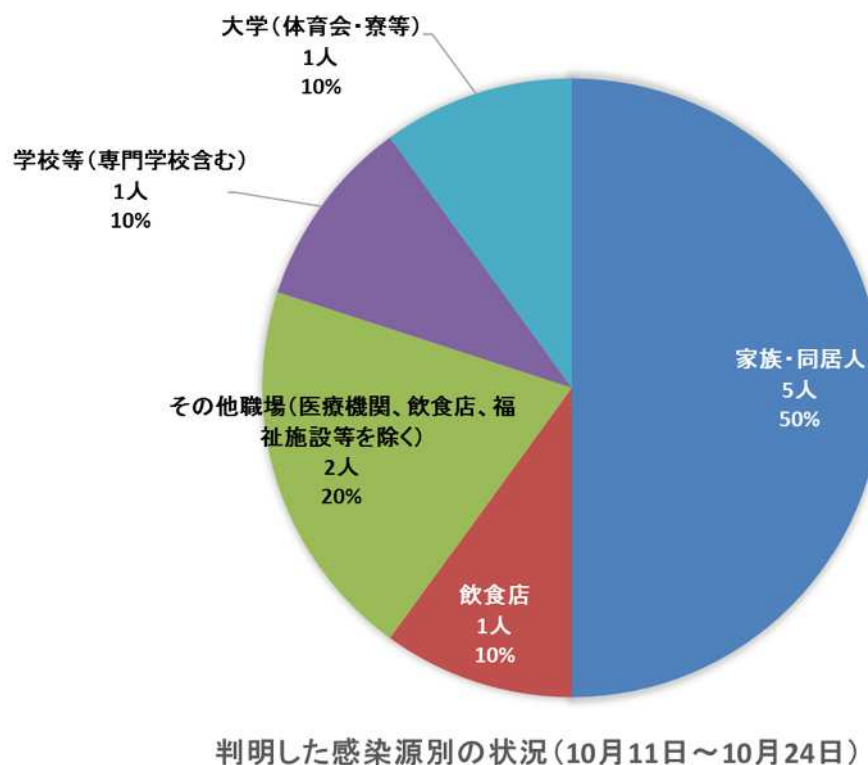
令和4年1月8日より積極的疫学調査にトリアージを導入しています。

あくまでも感染源は推定であり、感染源分類については疫学調査をもとに区が独自に分類しました。

< 直近の感染源の状況（1月10日～1月23日） >



【参考】 前回（令和3年10月24日時点）の感染源の状況（10月11日～10月24日）



(10) 濃厚接触者の状況

感染者が発生した場合、その濃厚接触者について、保健所が健康観察を行っています。市内の応援体制を組み合わせながら健康観察を行っていますが、積極的疫学調査実施要領改訂に伴い、令和2年5月29日以降、健康観察者にPCR検査を実施しており、感染者一人に対し、多数の接触者が発生するために、一人ひとりへのPCR検査の案内や結果通知、健康観察といった業務に係る負担が大きい状況になっています。令和4年1月23日現在の状況は以下のとおりです。

< 濃厚接触者への健康観察の状況 >

【令和4年1月23日現在】

濃厚接触者	観察終了		観察中	PCR検査陽性
	症状なし・PCR検査陰性等	連絡不通		
72,664 (+ 10,770)	66,102 (+ 8,637)	8 (0)	2,764 (+ 1,984)	3,790 (+ 149)

カッコ内は前回報告（令和3年10月24日）時点からの増加数を表しています。

症状なし、PCR検査陰性、連絡不通等で10日間の健康観察期間を終えた場合は、健康観察終了となります。

観察中には、PCR検査の検査待ちや結果待ちの方のほか、PCR検査結果が陰性で健康観察期間中の方等を含みます。

PCR検査の陽性者は、感染者に移行します。

令和3年7月31日より積極的疫学調査について、同居者等に重点化して実施しています。

令和4年1月8日より積極的疫学調査について、トリアージを導入しています。

(11) P C R 検査（従来型）数の推移

< P C R 検査件数 >

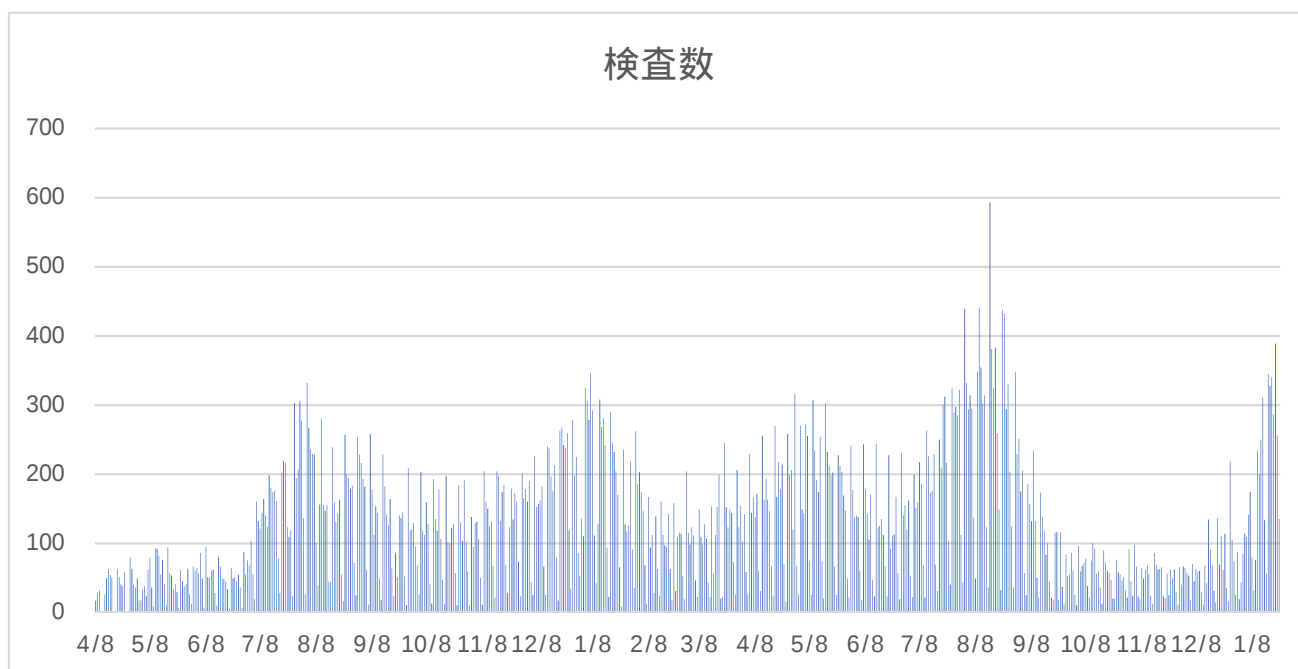
実施月	検査数	【参考】左記以外検査数（注）	
		P C R 検査	抗原検査
令和3年1月以前	31,138 件		
2 月	2,964 件		
3 月	3,483 件		
4 月	4,507 件	3,653 件	2,149 件
5 月	5,042 件	4,041 件	2,352 件
6 月	3,721 件	3,316 件	2,148 件
7 月	5,585 件	4,943 件	2,962 件
8 月	8,374 件	8,718 件	3,912 件
9 月	3,011 件	4,560 件	2,521 件
10 月	1,659 件	令和3年10月～12月の実績は 2月末に確定予定となっております	
11 月	1,487 件		
12 月	2,095 件		
1 月 23 日時点	4,134 件		
累計 1 月 23 日時点	77,200 件		

世田谷保健所（行政検査） 玉川医師会（保険適用） 世田谷区医師会（保険適用） 区内医療機関。

（注）は医療機関支援を受けており、従来型の P C R 検査に含まれていない医療機関の検査数。

検査数は区内で検査を受けた区民の検査数であり、区外で検査を受けた区民や区内で検査を受けた区外の方の数値は含まれません。また、陰性確認検査として一人で複数回実施した検査件数を含んでいます。

< P C R 検査件数の推移 >



(12) P C R 検査（社会的検査）の実施実績

介護事業所等を対象とした P C R 検査（社会的検査）の実施実績は次のとおりです。

< 全体 >

	行政検査			スクリーニング検査 【令和3年1月13日 受付開始】
	計	随時検査	定期検査	
実施施設数	921 施設	475 施設	446 施設	344 施設
介護事業所	496 施設	156 施設	340 施設	244 施設
障害者施設	150 施設	54 施設	96 施設	98 施設
上記以外	275 施設	265 施設	10 施設	2 施設
延べ施設数	1,755 施設	775 施設	980 施設	2,787 施設
介護事業所	1,025 施設	273 施設	752 施設	1,861 施設
障害者施設	282 施設	86 施設	196 施設	919 施設
上記以外	448 施設	416 施設	32 施設	7 施設
検査数	37,324 件	20,975 件	16,349 件	30,878 件
介護事業所	20,989 件	7,569 件	13,420 件	18,068 件
障害者施設	4,110 件	1,562 件	2,548 件	12,578 件
上記以外	12,225 件	11,844 件	381 件	232 件
陽性者数 （陽性率）	246 件 （0.66%）	221 件 （1.05%）	25 件 （0.15%）	
陽性把握 実施施設数	94 施設	82 施設	12 施設	
介護事業所	38 施設	27 施設	11 施設	
障害者施設	7 施設	6 施設	1 施設	
上記以外	49 施設	49 施設	0 施設	

行政検査の実績数には保健所や医師会等で行っている従来型の P C R 検査の実績数は含まれていません。

定期検査は現在受付を停止しています。

スクリーニング検査は令和3年12月末で受付を停止しています。

週ごとの検査数 合計 20,975人(1月23日現在) 随時検査
週ごとの陽性者数 合計 221人(1月23日現在) 随時検査



週ごとの検査数 合計 30,878件(1月23日現在) スクリーニング検査



(13) クラスター発生状況

区内におけるクラスター（５人以上の患者発生があった施設）は、飲食店５件(令和３年１０月から令和４年１月までの増加数は不明)、医療機関１７件、高齢者福祉施設３７件、障害者福祉施設４件、保育園３７件、幼稚園９件、小学校４４件、中学高校１８件、大学１５件、寮等の共同住宅２８件、その他２６件の合計２４０件です。（令和４年１月２３日現在）
今般の流行に伴い、小学校や保育園などの集団発生事例が増加しました。 ２

< 区内のクラスター発生状況【累計】 >

施設等	R3.1月31日 現在	4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在 ２
飲食店	３件 (０)	５件 (+ ２)	５件 (０)	５件 (０)	５件 (０)	５件 (不明 ３)
医療機関	９件 (+ ６)	１２件 (+ ３)	１２件 (０)	１３件 (+ １)	１４件 (+ １)	１７件 (+ ３)
高齢者施設	１８件 (+ １４)	２４件 (+ ６)	２８件 (+ ４)	３２件 (+ ４)	３４件 (+ ２)	３７件 (+ ３)
障害者施設	—	—	—	—	１件 (+ １)	４件 (+ ３)
保育園	２件 (+ ２)	３件 (+ １)	５件 (+ ２)	１１件 (+ ６)	２１件 (+ １０)	３７件 (+ １６)
幼稚園	１件 (０)	１件 (０)	１件 (０)	２件 (+ １)	３件 (+ １)	９件 (+ ６)
小学校	—	—	３件 (+ ３)	３件 (０)	３件 (０)	４４件 (+ ４１)
中学・高校	３件 (０)	５件 (+ ２)	７件 (+ ２)	８件 (+ １)	９件 (+ １)	１８件 (+ ９)
大学	１件 (+ １)	１件 (０)	４件 (+ ３)	１１件 (+ ７)	１３件 (+ ２)	１５件 (+ ２)
学生寮等/共同住宅	７件 (+ ３)	７件 (０)	１２件 (+ ５)	１８件 (+ ６)	２１件 (+ ３)	２８件 (+ ７)
その他 会社や遊技施設など	２件 (+ ２)	６件 (+ ４)	１７件 (+ １１)	２３件 (+ ６)	２４件 (+ １)	２６件 (+ ２)
計	４７件	６４件 (+ １７)	９４件 (+ ３０)	１２６件 (+ ３２)	１４８件 (+ ２２)	２４０件 (+ ９２)

- １ カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。
- ２ 今般の感染拡大により、現時点では保健所による正確なクラスター発生数の把握が困難なため、施設所管課が一定の期間に同一施設で感染者が５人以上発生した施設数を速報値として記載しております。これまでの保健所の集計方法とは異なり施設毎に集計方法や集計数に差があるため、あくまでも参考値であり、今後数値が大幅に変更になる可能性があります。
- ３ 令和４年１月２４日時点での飲食店でのクラスター発生件数の把握が困難なため、計上しておりません。

(14) 社会福祉施設等での感染の発生状況

医療機関や高齢者施設におけるクラスターの発生が減少していますが、一方で、区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は1409件把握しています(令和4年1月23日現在)。前回集計時(令和3年10月24日現在)の983件から、この3か月の間で約1.43倍の件数となりました。

なお、前回から増加した件数の内訳では、区立小学校が543件となっており、多くの感染者が発生しました。また、保育施設等で293件、区立中学校で146件となっており、比較的若い世代の感染に注意が必要な状況です。

< 社会福祉施設等での感染の発生状況【累計】 >

施設等		R3.1月31日 現在	4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在
高齢者サービス	通所介護	34件	44件	52件	57件	60件	67件
	地域密着型通所介護	25件	29件	37件	40件	42件	47件
	短期入所生活介護	5件	6件	7件	8件	9件	11件
	認知症対応型共同生活介護	6件	8件	11件	16件	19件	21件
	有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)	15件	20件	30件	37件	46件	57件
	訪問介護	21件	30件	37件	41件	46件	52件
	訪問リハビリテーション	1件	1件	2件	2件	3件	3件
	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	18件	18件	21件	27件	32件	38件
	訪問看護	3件	5件	6件	8件	10件	14件
	総合事業	1件	1件	1件	1件	1件	1件
	介護老人保健施設	3件	5件	6件	9件	9件	11件
	居宅介護支援	1件	4件	5件	5件	7件	8件
	通所リハビリテーション	2件	6件	6件	6件	7件	9件
	看護小規模多機能型居宅介護	1件	1件	2件	3件	3件	3件
	認知症対応型通所介護	1件	2件	2件	2件	2件	2件
	都市型軽費老人ホーム	1件	1件	1件	1件	1件	1件
	地域密着型特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	1件	1件	1件	1件	1件	1件
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1件	1件	1件	2件	2件	3件
	訪問入浴介護	1件	1件	1件	2件	2件	4件

	介護予防支援	—	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
	小規模多機能型居宅介護	—	—	2 件	2 件	2 件	3 件
	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護含む）	—	—	2 件	2 件	2 件	3 件
	住宅型有料老人ホーム	—	—	1 件	2 件	3 件	5 件
	計	141 件	185 件 (+ 44)	235 件 (+ 50)	275 件 (+ 40)	310 件 (+ 35)	365 件 (+ 55)

カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

施設等		R3.1月31日 現在	4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在
障害 者 サ ー ビ ス	障害児通所施設	8 件	8 件	14 件	25 件	29 件	36 件
	障害者通所施設	10 件	16 件	21 件	43 件	50 件	65 件
	障害者入所施設	2 件	2 件	3 件	3 件	4 件	5 件
	居宅介護事業所	5 件	7 件	8 件	10 件	13 件	15 件
	相談支援事業所	1 件	2 件	2 件	2 件	4 件	4 件
	障害者グループホーム	2 件	5 件	7 件	9 件	11 件	15 件
	計	28 件 (+ 19)	40 件 (+ 12)	55 件 (+ 15)	92 件 (+ 37)	111 件 (+ 19)	140 件 (+ 29)
保 育 施 設 等	企業主導型保育施設	1 件	1 件	1 件	3 件	6 件	10 件
	私立認可保育園	66 件	83 件	127 件	237 件	310 件	512 件
	区立認可保育園	17 件	24 件	32 件	55 件	82 件	133 件
	認証保育所	8 件	9 件	11 件	15 件	27 件	36 件
	認可外保育施設	7 件	14 件	19 件	37 件	51 件	75 件
	私立認定こども園	6 件	6 件	12 件	19 件	21 件	22 件
	一時預かり施設	1 件	1 件	1 件	3 件	3 件	3 件
	地域子育て支援拠点	—	1 件	1 件	2 件	4 件	6 件
	計	106 件 (+ 85)	139 件 (+ 33)	204 件 (+ 65)	371 件 (+ 167)	504 件 (+ 133)	797 件 (+ 293)
幼 稚 園	私立幼稚園	9 件	14 件	36 件	38 件	48 件	81 件
	区立幼稚園	—	1 件	1 件	2 件	12 件	26 件
	計	9 件 (+ 4)	15 件 (+ 6)	37 件 (+ 22)	40 件 (+ 3)	60 件 (+ 20)	107 件 (+ 47)
計		284 件	379 件 (+ 95)	531 件 (+ 152)	778 件 (+ 247)	985 件 (+ 207)	1409 件 (+ 424)

カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

< 社会福祉施設等での感染発生状況【1か月当たりの増加件数】 >

施設等	R3.1月31日 → 4月18日	4月18日 → 7月18日	7月18日 → 8月22日	8月22日 → 9月19日	9月19日 → 10月24日	R3.10月24日 → R4.1月23日
高齢者サービス	約 14.7 件	約 16.7 件	40 件	27 件	8 件	約 18.3 件
障害者サービス	約 4.0 件	約 5.0 件	37 件	19 件	0 件	約 9.7 件
保育施設等	約 11.0 件	約 21.7 件	167 件	123 件	10 件	約 97.7 件
幼稚園	約 2.0 件	約 7.3 件	3 件	18 件	2 件	約 15.7 件

【参考 - 】区立小中学校での感染の発生状況【累計】

施設等	R3.1月31日 現在	4月18日 現在	7月18日 現在	8月22日 現在	10月24日 現在	R4.1月23日 現在
区立小学校	98 件	141 件 (+ 43)	236 件 (+ 95)	373 件 (+ 137)	607 件 (+ 234)	1150 件 (+ 543)
区立中学校	44 件	54 件 (+ 10)	80 件 (+ 26)	142 件 (+ 62)	220 件 (+ 78)	366 件 (+ 146)

カッコ内は前回集計からの増加数を表しています。

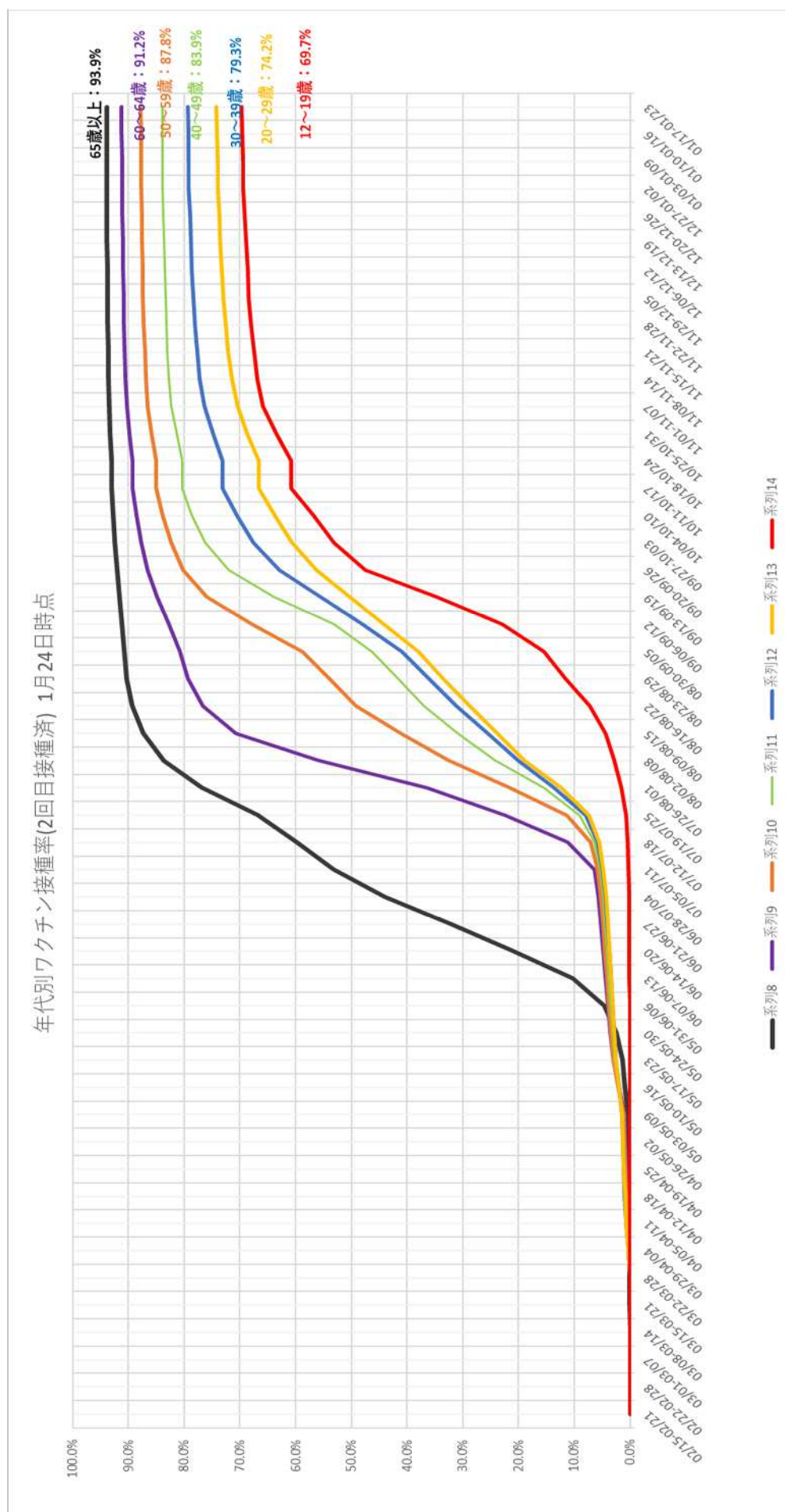
【参考 - 】区立小中学校での感染の発生状況【1か月当たりの増加件数】

施設等	R3.1月31日 → 4月18日	4月18日 → 7月18日	7月18日 → 8月22日	8月22日 → 9月19日	9月19日 → 10月24日	R3.10月24日 → R4.1月23日
区立小学校	約 14.3 件	約 31.7 件	137 件	226 件	8 件	181 件
区立中学校	約 3.3 件	約 8.7 件	62 件	77 件	1 件	約 48.7 件

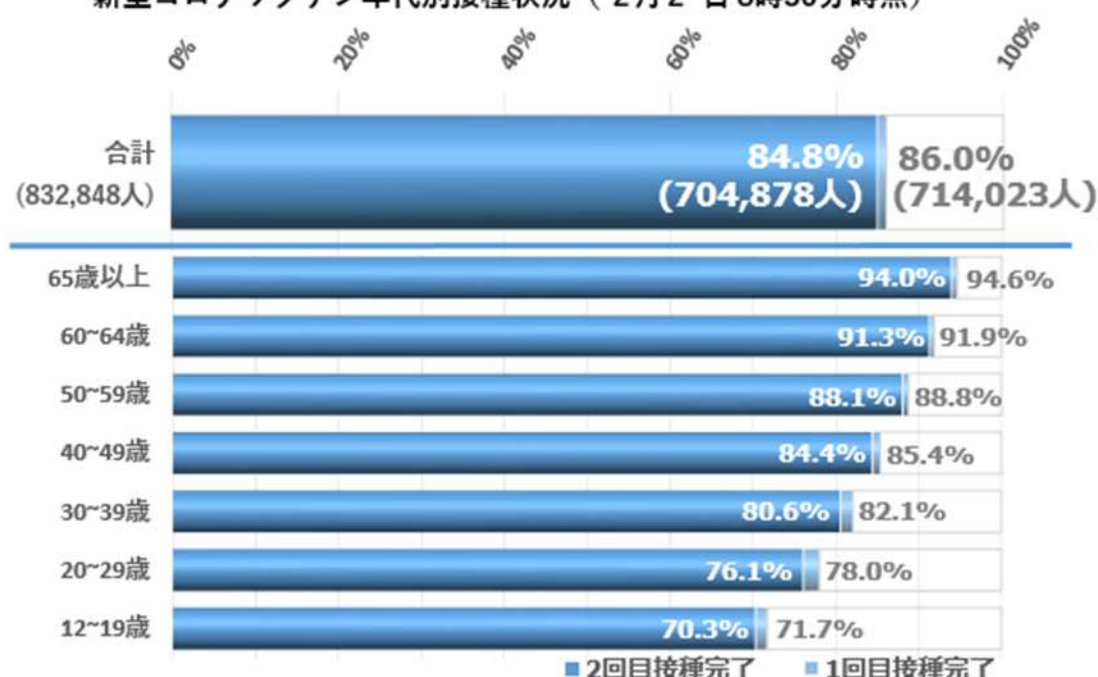
【参考 】高齢者施設での月別陽性者（令和3年7月～令和4年1月）

月	職員 陽性者数	利用者 陽性者数	陽性者数	クラスター 発生数
7月	17 人	21 人	38 人	2 件
8月	40 人	45 人	85 人	3 件
9月	11 人	14 人	25 人	1 件
10月	2 人	2 人	4 人	0 件
11月	1 人	0 人	1 人	0 件
12月	3 人	3 人	6 人	0 件
R4.1月（23日まで）	53 人	37 人	90 人	3 件
合計	127 人	122 人	249 人	9 件

(15) 新型コロナウイルスワクチン接種状況



新型コロナワクチン年代別接種状況（2月2日8時30分時点）



新型コロナワクチン年代別接種状況(2月2日8時30分時点)

対象	対象者人口	1回目接種済み人数(人)	1回目接種済み割合	2回目接種済み人数(人)	2回目接種済み割合
65歳以上	186,399	176,422	94.6%	175,179	94.0%
60歳～64歳	48,751	44,790	91.9%	44,522	91.3%
50歳～59歳	139,811	124,157	88.8%	123,112	88.1%
40歳～49歳	153,920	131,438	85.4%	129,902	84.4%
30歳～39歳	129,465	106,260	82.1%	104,286	80.6%
20歳～29歳	115,677	90,274	78.0%	87,988	76.1%
12歳～19歳	56,719	40,682	71.7%	39,889	70.3%
合計	830,742	714,023	86.0%	704,878	84.8%
個別接種	—	678	—	415	—

- VRSの数値は、国のワクチン接種記録システム(VRS:Vaccine Record System)の集計です。
- 1・2回目接種済み数はVRSの数値(令和4年3月末時点の年齢で集計)。VRSで2回目接種のみ登録されている場合は、同数を1回目接種に計上しています。
- 各項目の割合は、対象者数に占める割合です。
- 職域接種や個別接種は、VRSの接種実績の反映には時間がかかります。
- 個別接種の欄はVRSに反映したものを除きます。
- 令和4年1月5日から対象者人口を令和3年12月1日時点に更新しています。

3回目の接種状況(毎週水曜日更新)

3回目接種済み数は、令和4年2月2日8時30分時点で30,094名です。

(補足)

- 3回目接種済み数はVRSと個別接種(区外の方を含む)の実績を集計した数値です。
- 大規模接種や個別接種は、VRSの接種実績の反映には時間がかかります。

2. 区の感染予防の取組み

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する取組概要

分類		項目	内容
相談	電話	新型コロナウイルス相談窓口	症状はないが、新型コロナウイルス感染症に関する相談対応を実施（外部委託）
		発熱相談センター	発熱や全身のだるさ等の症状がある方の相談対応を実施（外部委託）
		後遺症相談窓口	療養期間終了後も何らかの症状が残っている方の相談対応を実施（外部委託）
検査	行政検査	従来型検査	感染拡大時は検査時間を延長して検査を実施
		社会的検査（PCR 検査） （今後の取組等については P41 を参照）	区内介護事業所等の社会福祉施設を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴う検査で無症状者を対象 ・定期検査と随時検査の2種類 現在定期検査は停止中
	スクリーニング検査	社会的検査（PCR 検査）	区内介護事業所、障害者施設、児童養護施設等を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者を対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要 現在スクリーニング検査は停止中
	抗原定性検査	社会的検査（抗原定性検査） （今後の取組等については P41 を参照）	区内介護事業所等を対象に一定以上のウイルス量を有する方を早期に発見することでクラスター発生抑止、重症化防止を図ることを目的として実施。 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者および軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合が対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要
	行事前検査	社会的検査（抗原定性検査） （今後の取組等については P41 を参照）	速やかな検査が可能な抗原定性検査を活用し、小中学校において校外学習や部活動の大会等の行事実施前に検査することで、感染拡大防止を図る。 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要

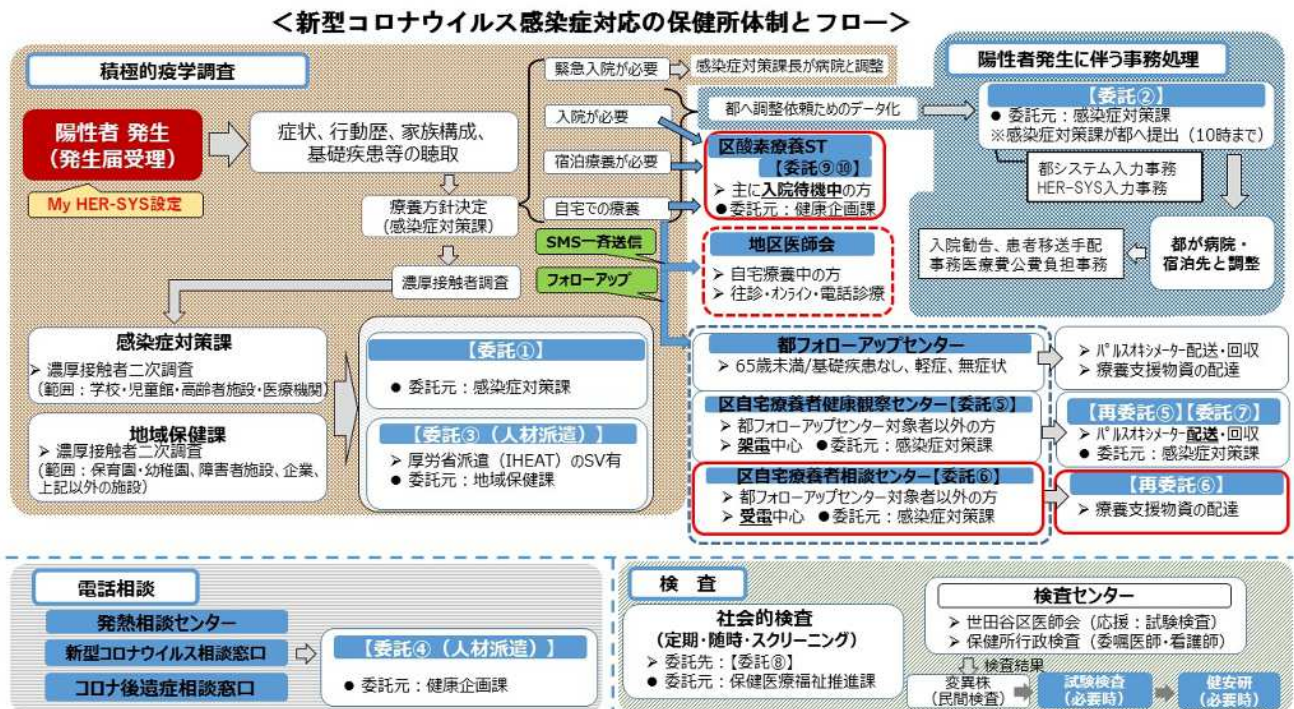
	抗原検査キットの配布	世田谷区民等を対象とした抗原定性検査キットの配布(P42を参照)		感染拡大防止を目的として、希望する区民等に抗原定性検査キットを配布
	PCR等検査無料化事業	東京都PCR等検査無料化事業に関する民間事業者との連携(P43を参照)		川崎重工業株式会社と連携し、東京都が実施しているPCR等検査無料化事業に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染不安を感じる都民に対し、無料でPCR等検査を実施
	臨時検査会場	臨時の検査会場の設置(P43を参照)		新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、臨時の検査会場を設置
積極的疫学調査		庁内応援体制		全庁応援を実施
		委託の活用		人員増にて対応
療養	自宅(P35を参照)	健康観察	在宅患者	My HER-SYSを導入し、電話による架電との組み合わせによる健康観察を実施
			濃厚接触者	同居の家族、保育園、学校等施設を対象として健康観察を実施
		パルスオキシメーター配布		希望する自宅療養者に対して配布できるよう、1月23日時点で約5,200台を確保
		酸素濃縮装置	東京都	契約及び協定により、500台を確保
			世田谷区	契約及び協定により、約10台を確保
		悪化時の対応	医師会	電話オンライン診療や往診等の体制を構築
			訪問看護ステーション	全域で医師の指示による訪問看護業務委託を東京都で導入し、区における体制を構築
			委託	架電と受電の機能を切り分けて委託を実施
		食料配送	委託	すべての療養者に3日分の飲料水等を配布できるよう外部委託を実施
	ホテル	東京都		<省略>
	酸素療養	酸素療養ステーション(P37を参照)		世田谷区民を対象として1月11日より開設し、1月23日時点で7名を受け入れた
	入院	病床の確保	医療機関支援(P38を参照)	医療機関の受け入れ体制を強化及び地域医療体制の確保のため、新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関を支援する
	治療	軽症	中和抗体薬(抗体カクテル等)	
経口薬			国の登録センターに登録済みの医療機関や薬局を通じた薬の提供体制	
研究		Ct値		令和3年5月26日福祉保健常任委員会報告済み
		後遺症		アンケートの結果、回答者の48.1%が何らかの後遺症があったとの回答であった
ワクチン(P47を参照)				

(2) 感染急拡大を受けた区の取り組み状況

No	項 目	内 容
1	地区医師会との連携 による取組み	■ 診断から保健所の連絡までの間の健康観察の実施 ■ 療養開始以降の健康観察の実施 ■ H E R - S Y S による発生届提出の勧奨
2	積極的疫学調査委託及び データ入力等委託	■ 感染急拡大を受けて事務職・看護師の配置増 (段階的に 2 4 人増) ■ 1 月 2 6 日より往診等調整窓口を設置
3	自宅療養者 健康観察センター	■ S M S 配信 (継続実施) ■ 有症状患者のリストを区・事業者でモニタリングし、症状に応じて機動的に架電し、健康状態を的確に把握できるよう業務フローを見直し
4	自宅療養者 相談センター	■ 現行 2 0 回線での委託での対応事項を拡充し、自宅療養者から保健所にかかる電話回線の負荷軽減を図る。また、契約期間も 3 月末まで延長する。 ■ 保健所からの連絡 (S M S 送信等) から 3 日以内に飲料、ゼリーなど流動食を配送できるよう体制を拡張
5	パルスオキシメーター 配送	■ 1 月 4 日より配送に加え、機器の保管・管理も委託 (最大 4 0 0 件 / 日配送可能)
6	酸素療養ステーション	■ 1 月 1 1 日より開設 (1 6 床) 開設期間も 3 月 3 1 日まで延長 ■ 累計入所者数 7 名 (1 月 2 3 日時点)
7	区内大学との協定	■ 日本体育大学及び国士舘大学と患者へのトリアージ対応への協力に関する協定締結 (1 月 7 日) ■ 活動実績 (1 月 2 6 日時点) 日中延べ 2 4 人活動、夜間延べ 6 人活動
8	療養サポートシート	■ 陽性時の患者への連絡及び調査の効率化を目的に、事前に必要な情報を電子申請で入力 (1 2 月 2 4 日 ~) 1 2 月下旬両医師会会員医療機関へ配布済
9	社会的インフラを継続的に 維持するための検査 (社会的 検査) との連携強化	■ 1 月 1 4 日以降、各施設所管課が施設における患者を把握した時点で、保健所の疫学検査の結果を待たずに、速やかに施設における社会的検査 (随時検査) を実施している (臨時的運用)

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー

区は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、保健所・保健福祉政策部はじめ区の関係所管部の職員及び民間の多様な人材の活力を活用し、次のようなフローで対応を行っています。



(4) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者への対策強化

年齢・症状別自宅療養者への支援（感染急拡大期） 令和4年1月31日から

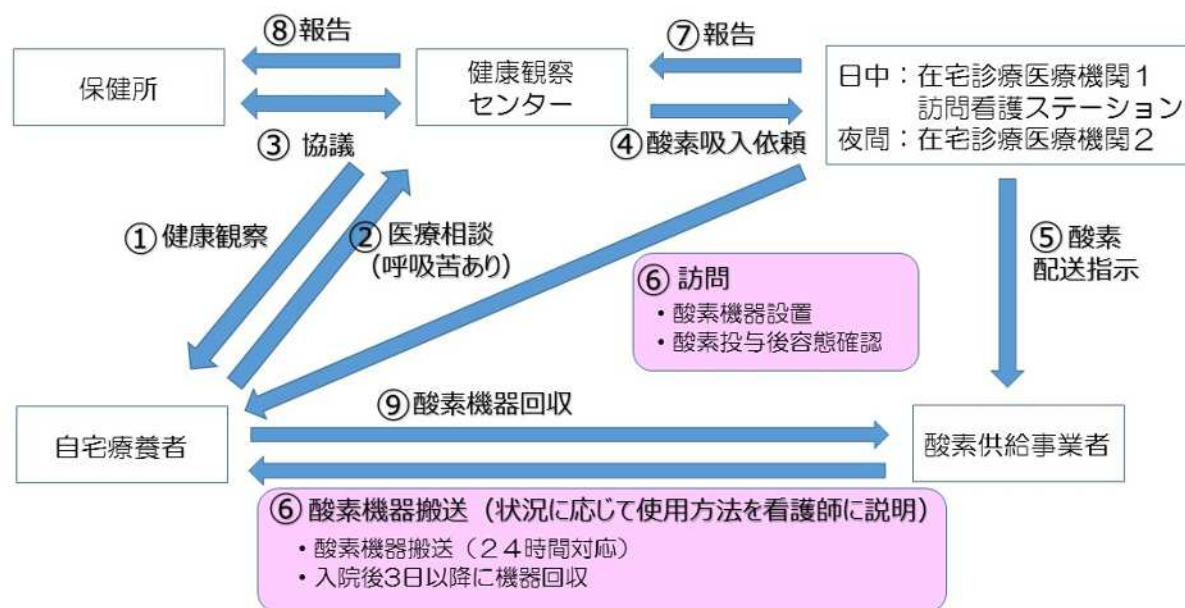
分類		対象	割合	初回 SMS	初回 架電	My-HER- SYS通知	健康観察	パルスオキシメーター	配食(都)	配食(区)	療養終了
入院		入院を要する方	-	○ (連絡事項 は共通)	○	○	医療機関	-	-	-	○ (医療機関)
宿泊療養	宿泊療養 ハイリスク同居者 がいる方(隔離不可)	3.5%	-		-	宿泊療養施設 (ホテル等)	-	-	-	○ (ホテル)	
	宿泊療養 (自主)		自主的にホテル希望 する方 (自身でホテル申込)		-	-	-	-	-		
自宅療養	医療機関 管理	診断医がフォローアップ する方	7.5%		-	-	診断医	○(希望者はうち さばへTEL)	○(希望者はうち さばへTEL)	○	○ (医療機関)
	保健所 (区)	入院待機者又はHCフォ ローが必要な有症状者	3.5%		○	○	外部人材	○(入院待機者は 都から配送)	-	-	○(入院 待機者)
							健康観察セン ター(区FUC)	○(希望者のみ区 から配送)	○(希望者はうち さばへTEL)	○	○ (区FUC)
	都フォロ アップセンタ (都FUC) (都)	50歳以上又は基礎疾患 (服薬等でコントロール 可)等あり() 対象年齢は感染状況 により変更有	25.0%		-	-	都FUC (SMSにて LINE登録)	○	○	○	○ (都FUC)
	うちさば 東京	上記以外の方	60.5%		-	-	療養者自身	○(希望者はうち さばへTEL)	○(希望者はうち さばへTEL)	-	-

在宅での酸素投与の体制整備

令和3年4月下旬より、区、健康観察センターの受託事業者、在宅酸素供給事業者の3者が連携し、入院調整中で酸素吸入が必要な感染者へのフォローアップ体制を強化しました。主に自宅療養中に呼吸苦等の発現により症状が悪化し、入院調整が必要と判断された感染者を対象として、自宅に速やかに酸素濃縮器を運搬するとともに、医療職による在宅での酸素投与等の診療体制を整備しました。（図）

区では、これまでに入院を待つ85人の方に使用していただいています。

在宅での酸素投与の体制



（図）在宅での酸素投与の体制

都の自宅療養者への医療支援策の活用

東京都でも、令和3年5月より自宅療養者が急増した場合に備え、都内全域において、自宅療養者の体調が悪化した場合、東京都・東京都医師会と地区医師会が連携し、地域の医師等による電話（オンライン含む）や訪問による診療が受けられる体制を構築しています。区においても、世田谷区医師会、玉川医師会との連携により、東京都の自宅療養者支援の仕組みを積極的に活用し、自宅療養者の健康観察や往診対応等の自宅療養者の支援に引き続き取り組んでいきます。

酸素療養ステーションの開設・運用

区は、自宅にて入院治療を待つ新型コロナウイルス感染症患者等に対し、酸素投与を含めた必要な支援を医療職の管理にて行うため、令和4年1月11日より区内の社会福祉施設に場所を移し、再開設いたしました。

<世田谷区酸素療養ステーションの概要>

1 施設の位置づけ

感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設

2 設置場所

区内社会福祉施設を活用（非公開）

3 定員

16名（世田谷区民対象）

4 開設期間

令和4年1月11日～3月31日

5 運用実績

（1）入所者数

男	女	合計
4	3	7

（2）年代別入所者数（累計）

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代
0	3	0	1	2	0
60代	70代	80歳以上			
1	0	0			

（3）酸素投与件数（累計）

酸素投与
0

（3）点滴投与件数（累計）

点滴投与
0

（5）退所後の行先（累計）

病院	ホテル	自宅
0	0	3

(4) 新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業

新型コロナウイルス感染拡大に対応する医療機関の受入れ体制を強化するとともに、地域医療体制の確保を図るため区内の医療機関を支援する補助事業を実施し、区内79の医療機関を支援している。令和4年1月23日現在の実績（第1期及び第2期：令和3年4月～9月）は下記のとおりとなっている（第3期：令和3年10月～12月の実績は2月末に確定予定）。

新型コロナウイルス感染症専用病床確保支援

区内の新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関に対し、新型コロナ病床を区民が使用した場合に1日につき1床あたり8,000円を補助する（自衛隊中央病院【防衛省】、都立松沢病院【東京都】を除く。）区内全ての入院受入医療機関が補助を受けている。

< 区内確保病床数の推移 >

自衛隊中央病院、都立松沢病院除く

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	151	163	173	実績は2月末に確定予定					

< 確保病床の区民使用数（延べ） >

【調整中】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1439	1437	1456	1919	2342	2068	実績は2月末に確定予定					

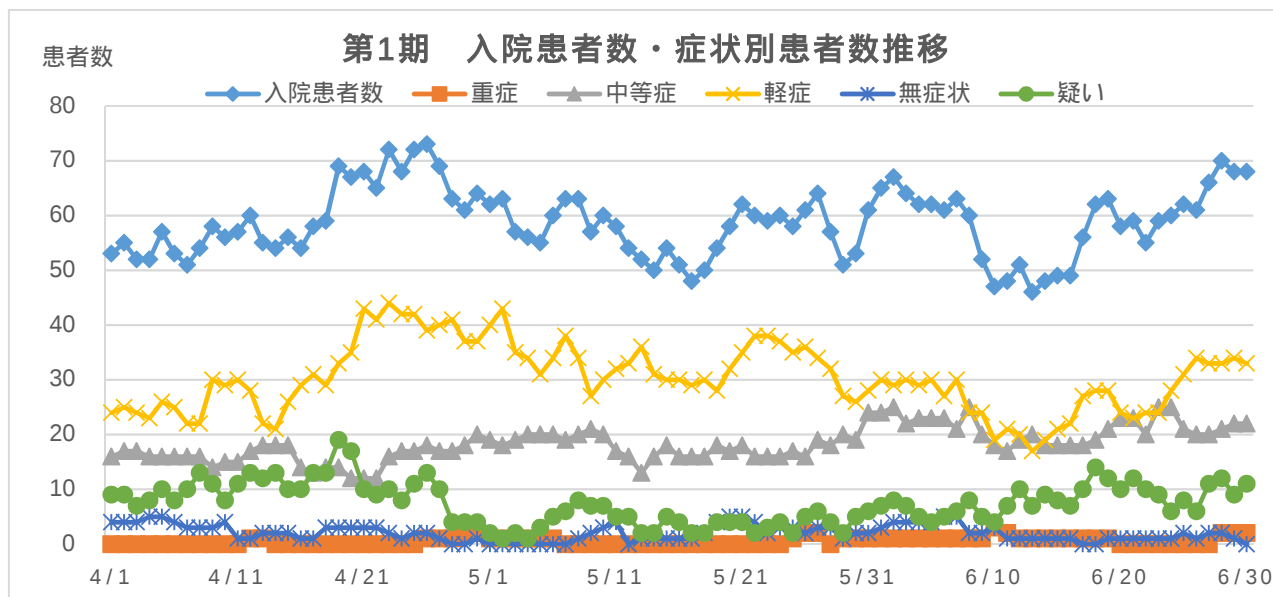
< 確保病床のうち区民利用率 >

【調整中】

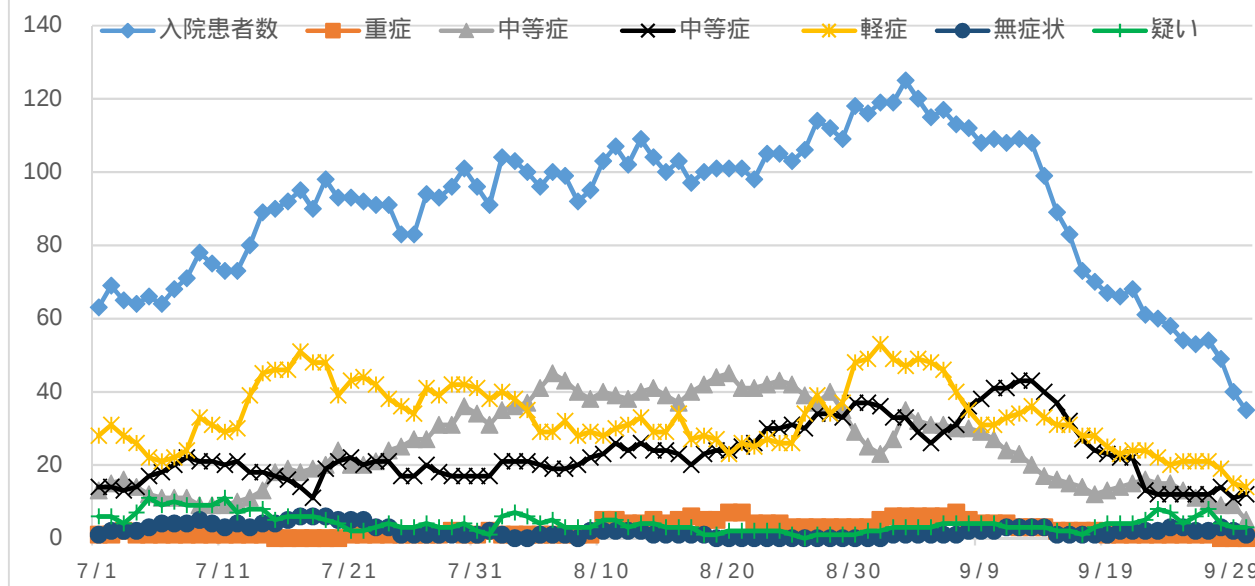
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
80.1%	81.1%	82.5%	74.7%	73.3%	80.7%	実績は2月末に確定予定					

< 入院患者数の推移 >

自衛隊中央病院、都立松沢病院除く



第2期 入院患者数・症状別患者数推移



発熱外来等の運営支援

区民が身近な医療機関において新型コロナウイルスに係る検査が実施できるよう、PCR検査について行政検体の受入れ、または保険診療による検査を実施する医療機関に対し補助をおこなう。帰国者・接触者外来を運営した場合、1か月あたり20万円。発熱外来を運営する診療所等及び、発熱・咳等の疑似症状を有する患者に対して訪問にて診療を行う医療機関については、1か月あたり10万円。区内76の医療機関が支援を受けている。そのうち、発熱外来等が69、訪問診療が4、帰国者・接触者外来が3となっている。

< 補助事業実施医療機関による PCR 検査数 >

【調整中】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3653	4041	3316	4943	8718	4560	実績は2月末に確定予定					

帰国者・接触者外来除く

< 補助事業実施医療機関による抗原検査数 >

【調整中】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2149	2352	2148	2962	3912	2521	実績は2月末に確定予定					

休業・縮小施設の再開支援

医療機関の従業員または入院患者が新型コロナウイルス感染症に罹患、またはその疑いが発生したことにより、外来診療の一部または全部の休診、病床使用停止になった場合に、補助を実施している。休診した1ラインごとに、1日につき41,700円、病床の使用停止は1日、1床あたり8,000円を補助する。

< 休診補助医療機関数等 >

	第1期(4~6月)	第2期(7~9月)	第3期(10~12月)	第4期(1月~3月)
休診した医療機関	2(47日)	1(11日)	実績は2月末に確定	
補助した停止病床数	870	0	予定	

新型コロナウイルス感染症回復後患者の転院受入支援

新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたが、リハビリや他の疾患の療養の必要、介護者の罹患などの理由により自宅や入所施設、グループホーム等に戻ることはできない入院患者の転院等を受け入れる区内の医療機関や高齢者施設等を支援し、区内の新型コロナウイルス感染症入院受入病床の確保を図る。

ア．区内の入院受入医療機関より回復後患者を受入れた場合、1日につき8,000円

イ．アの医療機関に転院を実施した医療機関は患者1名につき12,000円

他の病院より回復後患者の転院を受け入れる8病院、自院にて転床を実施する8病院を支援している。

< 区内病院より転院を受け入れた患者数 >

【調整中】

	第1期（4～6月）	第2期（7～9月）	第3期（10～12月）	第4期（1月～3月）
転院受入患者数	3名	1名	実績は2月末に確定 予定	
転院後の入院日数（延べ）	177日	22日		

< 自院にて回復後患者の転床を実施した患者数 >

【調整中】

	第1期（4～6月）	第2期（7～9月）	第3期（10～12月）	第4期（1月～3月）
転床実施患者数	21名	37名	実績は2月末に確定 予定	
転床後の入院日数（延べ）	428日	257日		

【参考】陽性者における医療機関入院の区内・区外割合

入院勧告者数（令和3年4月～9月） 全体2,580件

区内医療機関 1,108件（43%）

区外医療機関 1,472件（57%）

(5) 社会的検査の取組み

保健所等が実施する「感染症の疑いがある有症状の方や濃厚接触者の PCR 検査」に加え、有症状者や濃厚接触者に限らない検査の取組みとして、施設利用者への感染を防ぎ、重症化を避けることや、施設内でのクラスター発生を抑止することを目的として令和 2 年 10 月から「社会的インフラを継続的に維持するための検査（社会的検査）」を実施しています。

1 現在の対応

(1) 随時検査の体制強化の継続

感染拡大に備え、1 2 月より随時検査の検査体制を現在の 3 チームから、6 チームへ増やし体制を強化しているが、現在の感染状況等を踏まえ、2 月以降も継続する。

(2) 抗原定性検査の活用

オミクロン株による感染拡大懸念及び国や都の無料検査の実施などの検査体制の拡充に向けた動きにより、下記の対応を実施する。

社会的検査対象事業所・施設（介護事業所等）について

社会的検査の対象である以下の施設（以下「施設等」という。）において、1 月より抗原定性検査の対象を拡大するとともに、抗原定性検査キット（以下、「簡易キット」）を追加配付する。

ア 対象施設

介護事業所 1、障害者施設 1、小中学校、新 B O P、児童養護施設等

1 入所系の介護事業所・障害者施設は引き続き、感染の不安がある場合は随時検査で対応する。

2 保育園・幼稚園等は 1 2 月に利用者世帯向けに配付済みのため、追加配付の対象外とする。

イ 拡大内容

現在、社会的検査で配付している簡易キットについて、「感染者又は感染疑いのある方に接触した可能性が高く、かつ、感染の不安がある場合」および「軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合」の事由において、利用者も使用可能とする。

< 拡大後の抗原定性検査の対象 >

	抗原定性検査の対象事由	職員・教員	利用者
	事業所・施設内で感染者が発生した場合	対象	対象
	感染者又は感染疑いのある方に接触した可能性が高く、かつ、感染の不安がある場合	対象	対象外 ↓ 対象
	軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合	対象	対象外 ↓ 対象

保健所からの依頼に基づく民間事業等（大学など）について

保健所から依頼がある場合は、社会的検査対象事業所・施設に限らず、民間事業所等も随時検査および抗原定性検査の対象としているが、今回抗原定性検査について、以下の用途で活用する。

ア 社会的検査の随時検査の補完として

（例：民間事業所や大学等でクラスターが発生し、濃厚接触者の特定に時間を要する場合、一定以上のウイルス量を有する方を早期に発見するために、PCR検査に先行して実施する 等）

イ 濃厚接触者への検査用として

世田谷区民等を対象とした抗原定性検査キット（簡易キット）の配布

ア 区施設等における配布事業

（ア）対象者 区内在住・在勤・在学

（イ）配布場所 二子玉川公園（玉川地域）

成城学園前駅南口広場（砧地域）

烏山区民センター前ひろば（烏山地域）

（ウ）実施期間・時間 令和4年1月21日（金）～令和4年1月27日（木）

（土日含む）計7日間、全日10時～16時

（エ）配布実績 38,388キット

イ 薬剤師会における配布事業（実施時期延期）

当初、令和4年2月1日からの配布を予定していたが、今般の簡易キットの供給状況と国が示した簡易キットの優先供給順位(令和4年1月27日厚生労働省事務連絡)の対応に伴い、実施を延期する。

なお、開始時期等は供給状況を踏まえて判断する。

医療機関等に対する抗原定性検査キットの配付

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、区内医療機関において、簡易キットの供給に不足が生じている。診療患者に対する検査体制を確保するため、医療機関に対し簡易キットを配付する。

ア 配付対象医療機関

（ア）令和3年度新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業補助金において、「発熱外来の運営等」を実施している医療機関のうち、第3期実施状況報告までに、保険診療による抗原検査の実績がある医療機関。（区内54医療機関）

（イ）世田谷区医師会及び玉川医師会

イ 配付予定数量

50,000キット

段階的に配付する。なお内訳は以下のとおり

第1次 約16,000キット

第2次 約34,000キット（簡易キットが納品次第配付予定）

(3) 東京都 P C R 等検査無料化事業に関する民間事業者との連携

川崎重工業株式会社からの提案により、東京都が実施している P C R 等検査無料化事業に基づき、感染症の感染不安を感じる都民に対し、無料で P C R 等検査を区と連携し、実施する。

実施場所

ア 代田区民センター（世田谷区代田 6 - 3 4 - 1 3 ）

検査実施場所 1 階ロビー

イ 宮坂区民センター（世田谷区宮坂 1 - 2 4 - 6 ）

検査実施場所 2 階大広間

実施期間等（予定）

令和 4 年 2 月 1 3 日（日）まで

1 0 時～ 1 6 時（土日祝日も含む。ただし施設の休館日は除く）

検査方法

P C R 検査（検体：唾液）

実績数（令和 4 年 1 月 3 0 日（日）終了時点）

ア 代田区民センター 3 , 5 5 0 件

イ 宮坂区民センター 2 , 0 4 1 件

(4) 臨時検査会場について

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、世田谷保健所や医療機関における P C R 検査の需要が急増している。また、濃厚接触者の増加により検査を受けることが困難となっている状況にある。区では緊急対応として、上用賀公園（上用賀 4 - 3 6 ）の拡張用地一部において、事業者への委託による臨時の検査会場を設置する。

臨時検査会場の位置づけ

臨時の診療所実施場所

実施期間及び診療時間

- ・開始日 令和 4 年 2 月 7 日（月）正午から
- ・終了日 令和 4 年 3 月 3 0 日（水）予定（片付けを含め 3/31 まで）
- ・時 間 9 時 3 0 分～ 1 4 時 3 0 分実施期間及び診療時間（予定）

対象者

次に該当する無症状の区民を対象に実施します。

- ・世田谷区が実施する無料抗原定性検査キット、東京都の P C R 等検査無料化事業及び市販の検査キットで陽性疑いとなった方

検査種類

- ・ P C R 検査
- ・事前予約制

(5) この間の抗原定性検査キットの活用

配付先等	配布 予定数	実績	予算	通知
9 月 ~ 小中学校等 (随時検査補完、行事前検査)	10 万個	約 5.5 万 個	122,166 千円	8/26 (周知)
11 月下旬 ~ 介護事業所・障害者施設・保育園・幼稚園等 (職員用、備え置き)	14 万個	約 7 万個	267,886 千円	10/22 (調査)
12/8 ~ 保育園、幼稚園等 (利用者とその世帯、家庭内感染対策目的)	7 万個	約 7 万個		11/12 (周知) 11/26 (調査)
1/17 ~ 介護事業所、障害者施設、児童養護施設等、小中学校等 (利用者用、備え置き)	4・5 次補正での残数 から配布			1/7 (調査)
無料配布 (二子玉川、成城、烏山)	4 万個	【合計】 約 24 万個 予定		397,829 千円
医療機関 (第 1 次) 1/24 の週に配布	1.6 万個			
薬剤師会会員薬局経由の無料配布 延期	9 万個			
医療機関 (第 2 次) 予定	3.4 万個			
エッセンシャルワーカー等 予定	6 万個			

2 令和4年度における社会的検査の体制

新たな変異株が発生するなど、新型コロナウイルスへの対策は油断できない状況である。一方で、ワクチンの3回目接種や国による治療薬の確保等が進んでいることを踏まえ、令和4年度上半期（4月～9月）における社会的検査については、体制を一部変更し実施する。なお、今後も感染状況、ワクチン接種状況、経口薬の導入及び国や都の動向に応じて体制を見直すとともに、令和4年度下半期（10月～3月）の実施の必要性を検討する。

【令和4年4月～9月における社会的検査の体制】

検査種別	規模	実施事由	対象	備考	
随時検査 （行政検査）	延べ検査数 1万2千件	事業所・施設内で感染者が発生した場合	職員 利用者	令和2年10月から実施	令和3年4月～9月の実績と同規模
		（上記以外の場合で）感染者又は感染疑いのある方に接触した可能性が高く、かつ、感染の不安がある場合	利用者 入所予定者 含む	令和2年10月から実施	令和4年4月以降、職員・教員については、随時検査補完の抗原定性検査にて実施
抗原定性検査	35万キット	随時検査の補完 事業所・施設内で感染者が発生した場合	職員 利用者	令和3年9月 から実施	・随時検査の受検までに時間を要する場合に実施 ・予定数量：56,000キット
		随時検査の補完 （上記以外の場合で）感染者又は感染疑いのある方に接触した可能性が高く、かつ、感染の不安がある場合	職員 利用者 1	職員（令和3年11月から実施） 利用者 1 （令和4年1月実施）	・感染拡大が懸念される期間への備えとして希望する事業所等に対して、1回の配付につき、職員一人当たり2個を上限に配付
		随時検査の補完 軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合	職員 利用者 1	職員（令和3年11月から実施） 利用者 1 （令和4年1月実施）	・配付は2回を予定（4月と7月を想定） ・利用者については、感染拡大の傾向が見られる場合に、使用可能とする。

					・ 予定数量： 144,000 キット
		行事前検査	職員 利用者	令和３年９月 から実施	・ 小中学校等において、校外活動等（宿泊行事や部活動大会）に参加する場合に実施（ただし感染状況等によっては実施の有無を検討） ・ 予定数量：76,000 キット
		施設および家庭における感染拡大防止	利用者	令和３年１２ 月実施	・ 保育園等の利用者に対し一律２個を配付 ・ 配付は１回を予定（感染状況等により時期を調整。または実施の有無を検討） ・ 予定数量：74,000 キット

１ 感染拡大の傾向が見られる場合に対象とする。ただし、一部の施設は対象外

【対象外施設】

- 入所系の介護事業所・障害者施設...随時検査（行政検査）で対応
- 保育園・幼稚園等...施設及び家庭における感染拡大防止として配付を実施した場合、対象外とする。

２ 定期検査及びスクリーニング検査は、引き続き「停止」とする。

(6) 新型コロナウイルスワクチン住民接種の実施状況

1 主旨

先般、国が新型コロナワクチン追加接種（3回目接種。以下、「3回目接種」という。）における一般の高齢者やその他の一般の方の接種時期を前倒し（以下、「接種時期の前倒し」という。）したこと等を受け、区は今後の接種体制の確保に関する考え方を整理した（令和4年1月17日新型コロナウイルス感染症対策本部会議決定事項）。

この考え方を踏まえ、区の3回目接種の接種計画や接種券の発送スケジュール等を見直すとともに、令和4年3月以降に実施が予定されている5～11歳への接種（以下、「小児接種」という。）の接種計画を新たに定める。

2 国による接種時期の前倒し（概要）

別紙1のとおり

3 接種時期の前倒しへの対応

(1) 接種券の発送スケジュールの前倒し

これまで「2回目接種完了から7か月を迎える時期までに発送する」としてきた接種券の発送スケジュールの前倒しを行う。

接種券が届き次第、一般の高齢者及びその他の一般の方のいずれも、2回目接種完了から6か月以上経過後に予約及び接種を可能とする運用に改める。

■ 発送スケジュール前倒しの内容

一般の高齢者	2回目接種完了から6か月を経過する方（ ）に対して、 <u>2月9日に接種券を一斉に発送する。</u>
その他の一般の方	現在の「2回目接種完了から7か月を迎える時期までに発送する」スケジュールを更に早め、 <u>令和4年3月上旬からは、2回目接種完了から6か月を迎える時期までに接種券を発送する。</u>

6か月未満の方を一部含む。発送対象者は令和3年9月30日までに2回目接種を完了した方。

【見直し後の接種券発送スケジュール】

■変更前

発送回	到着開始日 (予定)	対象者 (2回目接種時期)	送付件数 (予定)	(内訳(概数))	
				高齢者数	高齢者以外
第5回	1月28日	6月24日～7月5日	40,000	36,000	4,000
第6回	2月3日	7月6日～7月18日	36,500	26,400	10,100
第7回	2月7日	7月19日～7月26日	39,200	14,000	25,200
第8回	2月15日	7月27日～7月31日	45,800	15,000	30,800
第9回	2月21日	8月1日～8月7日	63,200	12,800	50,400
第10回	2月28日	8月8日～8月31日	130,800	14,000	116,800
第11回	3月14日	9月1日～9月30日	161,800	3,100	158,700
第12回	3月18日	10月1日～10月31日	41,000	800	40,200

■変更後

発送回	到着開始日 (予定)	対象者 (2回目接種時期)	送付件数 (予定)	(内訳(概数))	
				高齢者数	高齢者以外
第5回	1月28日	6月24日～7月5日	40,000	36,000	4,000
第6回	2月3日	7月6日～7月18日	36,500	26,400	10,100
第7回	2月7日	7月19日～7月26日	39,200	14,000	25,200
第8回	<u>2月9日</u>	7月27日～7月31日 <u>高齢者は～9月30日</u>	<u>75,700</u>	<u>44,900</u>	30,800
第9回	<u>2月18日</u>	8月1日～8月7日	50,400	<u>0</u>	50,400
第10回	<u>2月24日</u>	8月8日～8月31日	116,800	<u>0</u>	116,800
第11回	<u>3月4日</u>	9月1日～9月30日	158,700	<u>0</u>	158,700
第12回	3月18日	10月1日～10月31日	41,000	800	40,200

郵便局の配送の関係上、到着までには3営業日程度かかる場合がある。

VRSへの入力状況や転出等により、実際の送付件数とは異なる場合がある。

第1～4回は発送済み

(2) 接種体制の拡充

できる限り多くの方が2回目接種完了から6か月経過後に接種を受けられるよう、令和4年2月分の接種体制を更に拡充する。

【拡充分】

接種体制	拡充内容	拡充数 (R4.2月)
集団接種	モデルナ社ワクチン(以下、「モデルナ」という。)を使用する会場のうち、宮坂区民センター、代田区民センター、粕谷区民センターの開設日を1週間前倒し(2/28の週から2/21の週へ前倒し。予約受付開始済み)	<u>約4,000回</u>
	モデルナを使用する5会場の昼間の運営時間を30分拡大	<u>約2,000回</u>
	ファイザー社ワクチン(以下、「ファイザー」という。)を使用する集団接種会場の開設日数の増	<u>約6,000回</u>

【参考・既拡充分(令和3年12月27日決定)】

接種体制	拡充内容	拡充数 (R4.2月)
個別接種	各医療機関での接種回数増(配付ワクチン増)	約70,000回
集団接種	モデルナを使用する集団接種会場の開設日数の増(週4日稼働 最大週6日稼働)	約4,000回

(3) 接種計画の見直し

今回の接種時期の前倒しを踏まえ、接種計画の見直しを行う（見直し後の接種計画は別紙2のとおり）。

主な見直し内容

- ・接種対象者数を、一般高齢者は「令和4年3月以降、2回目接種完了から6か月以上経過後」、その他の一般の方は「令和4年3月以降、2回目接種完了から7か月以上経過後」の人数に変更（ただし、実際の予約・接種は、接種券が届いた時点で2回目接種完了から6か月以上経過した日の予約・接種が可能）
- ・ファイザーを使用する以下の5会場を、3月以降、モデルナを使用する会場に変更
世田谷文化生活情報センター、北沢タウンホール、玉川区民会館集会室
砧総合支所（砧区民会館・区民集会所）、烏山区民センター（烏山区民会館）
- ・上記（2）による集団接種回数の増

見直し後の接種計画の概要

【接種対象者数】

■見直し前の接種対象者数

			3回目接種対象時期						
接種対象者	2回目接種からの間隔	合計	12～1月	2月	3月	4月	5月	6月	7～9月
3回目接種対象者数		710,000人	47,200人	128,700人	103,100人	177,000人	184,000人	55,000人	15,000人
医療従事者等	6か月	29,900人	29,900人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
高齢者・障害者施設の入所者・従事者	6か月	16,100人	14,300人	1,700人	100人	0人	0人	0人	0人
高齢者（一般）	7か月	163,000人	3,000人	127,000人	27,000人	3,000人	2,000人	1,000人	0人
高齢者以外（一般）	8か月	501,000人	0人	0人	76,000人	174,000人	182,000人	54,000人	15,000人

■見直し後の接種対象者数

			3回目接種対象時期						
接種対象者	2回目接種からの間隔	合計	12～1月	2月	3月	4月	5月	6月～9月	
3回目接種対象者数		710,000人	47,200人	128,700人	280,100人	184,000人	55,000人		15,000人
医療従事者等	6か月	29,900人	29,900人	0人	0人	0人	0人		0人
高齢者・障害者施設の入所者・従事者	6か月	16,100人	14,300人	1,700人	100人	0人	0人		0人
高齢者（一般）	6か月	163,000人	3,000人	127,000人	30,000人	2,000人	1,000人		0人
高齢者以外（一般）	7か月	501,000人	0人	0人	250,000人	182,000人	54,000人		15,000人

【接種計画数】

■3回目接種計画数（ファイザー、モデルナの合計）

			3回目接種実施時期					
接種体制	使用ワクチン	合計	12～1月	2月	3月	4月	5月	6月～9月
3回目接種計画数		724,600人	47,800人	141,000人	270,300人	198,900人	50,700人	15,900人
医療従事者等接種（病院（勤務先）、都大規模会場）	ファイザー	27,000人	24,000人	3,000人	0人	0人	0人	0人
巡回接種（高齢者・障害者施設）	ファイザー	16,100人	主な接種時期					
個別接種	ファイザー	197,100人	1,000人	86,400人	54,000人	40,500人	10,800人	4,400人
職域接種	モデルナ	110,000人	0人	0人	50,000人	50,000人	10,000人	0人
大規模接種（国・都）	モデルナ	15,000人	0人	5,000人	5,000人	5,000人	0人	0人
集団接種	ファイザー	100,100人	8,500人	27,700人	29,200人	20,400人	6,200人	8,100人
	モデルナ	259,300人	0人	17,200人	132,000人	83,000人	23,700人	3,400人

(4) 区の集団接種会場の予約枠の設定

上記(3)接種計画を踏まえ、3月分(3/1~3/31。一部2月分含む)の集団接種会場の予約枠を設定する。

今回予約枠を設定する集団接種会場・開設日

別紙3「開設日程表」のとおり

区の集団接種会場で設定する予約枠数

約170,000枠

今回設定する予約枠の受付開始日時

令和4年1月27日(木)8時30分から

予約枠設定のため、1月26日(水)20時以降、該当の会場を予約システム上、一時的に非公開に設定する。

4 小児接種への対応

1月21日に小児接種用のファイザー社ワクチン(以下、「小児用ワクチン」という。)が薬事承認され、国は3月以降、小児用ワクチンの国内配送を開始し、接種を開始するよう自治体に求めている。

これを踏まえ、区は以下のとおり小児接種を進める。

(1) 接種体制確保の考え方

- ・概ね3月中から6月末頃までを目途に、対象者約53,000人の約6割(32,000人)が2回接種(64,000回)を受けられる体制を集団接種と個別接種を組み合わせで確保する(個別接種の体制確保にあたっては、区内両医師会等との協議を含めて検討を進める)。
- ・集団接種の実施にあたっては、3回目接種で確保している区の集団接種会場の一部の土曜、日曜を活用することとし、2回分のセット予約(1回目と2回目の間は3週間)を基本として、地域偏在が生じないように、実施する会場を週ごとに交替していく。

■ 集団接種の実施イメージ(例)

会場	セット予約	
	1回目接種日	2回目接種日
世田谷文化生活情報センター	3月12日(土)	4月2日(土)
	3月13日(日)	4月3日(日)
北沢タウンホール	3月19日(土)	4月9日(土)
	3月20日(日)	4月10日(日)
玉川区民会館	3月26日(土)	4月16日(土)
	3月27日(日)	4月17日(日)

各地域の集団接種会場で、順次小児接種を実施していく。

- ・個別接種については、小児接種に協力いただける区内医療機関で実施する。

(2) 小児接種の接種計画

上記 (1) の考え方をもとに、小児接種の接種計画を以下のとおり定める。

■ 小児接種対象者数

接種対象者数 (全体)	53,000 人
接種計画数 (接種対象者数の約 6 割)	32,000 人 (64,000 回)

■ 小児接種 接種計画

	合計	3月	4月	5月	6月
接種計画数	64,000	10,000	18,000	21,000	15,000

集団接種と個別接種を組み合わせる。

7 月以降も、希望者には継続して接種する体制を整える。

(3) 小児接種用の接種券の発送

国が小児接種の開始時期を令和 4 年 3 月以降と示していることを踏まえ、小児接種用の接種券を対象者約 53,000 人 () に対して、2 月下旬 ~ 3 月上旬を目途に一斉送付する。

2010 年 4 月 2 日生まれ ~ 2017 年 5 月 1 日生まれの方 (予定。国からの情報により、変更する場合がある)

2017 年 5 月 2 日以降に生まれた方には、令和 4 年 4 月以降、満 5 歳を迎える誕生日の前月に順次発送する。

5 今後のスケジュール (予定) 接種券発送スケジュールは上記 3 (1) を参照

1 月 26 日 20 時 ~ 予約システム上、区の集団接種会場を一時非公開 (予約枠設定作業)

27 日 8 時 30 分 ~ 区の集団接種会場の新たな予約枠の受付開始 (令和 4 年 3 月分等)

2 月 1 日 区のおしらせ 2 月 1 日号 (接種時期の前倒し、接種券発送スケジュール等)

2 月 15 日 区のおしらせ 2 月 15 日号 (小児接種の概要等)

2 月下旬以降 小児用の接種券の発送、予約受付開始

3 月以降 小児接種用ワクチンの配送開始

3 月中 ~ 小児接種の開始